

七十七の地域貢献

～地域社会への貢献と「地域密着型金融の推進」～

平成23年3月期 中間
平成22年4月1日～平成22年9月30日

七十七銀行

目 次

1. 地域貢献に関する考え方	1
2. 地域密着型金融の推進	2
3. 金融円滑化の推進	3
4. 地域への信用供与の状況	6
(1) 貸出業務全般	
(2) 中小企業向け貸出業務	
(3) 個人向け貸出業務	
5. 地域のお客さまへの 利便性提供の状況	14
(1) 店舗網等各種チャネルの整備	
(2) 預金業務等	
(3) 決済サービス	
(4) その他のサービス	
6. 地域経済活性化への取組状況	25
(1) 地元企業のサポート	
(2) 企業の育成への取組み	
(3) 地方公共団体の事業との関係	
7. 地域社会への各種支援活動の状況	34

七十七銀行は、宮城県のリーディングバンクとして、明治11年の創業以来永きにわたり地域の皆さまと共に歩んでまいりました。昭和36年に経営の基本理念として制定し、現在も行動の規範として役職員に浸透している「行是」では、「自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する」旨を謳っています。またそのなかでも「奉仕の精神の高揚」を第一に掲げて、地域社会の繁栄のために奉仕する姿勢を説いています。

行 是

銀行の使命は、信用秩序の維持と預金者保護の精神を旨とし、自らの創意と責任において資金の吸収と信用の創造を行い、もって国民経済の発展に寄与することである。

この公共的使命に基づき、当行は地方銀行として、自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する。

以上の理念に立脚し、ここに当行に職を奉ずるものによるべき軌範を定める。

一. 奉仕の精神の高揚

銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。

一. 信用の向上

銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。

一. 和協の精神の涵養

和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。

七十七銀行は、こうした基本理念のもと、地域社会の持続的な発展のためにリーダーシップを発揮して、社会的責任を果たし地域社会と共生する企業となることを目指しています。

具体的には、地域経済の発展に寄与するために、地域への円滑な資金供給とお客さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供を行っているほか、地域経済の活性化のために、企業活動のサポートや各種情報の提供を行っています。さらに、良き企業市民としての観点から、社会貢献活動も継続的に行っています。

七十七銀行は、「行是」の理念を全うするために、地域社会への貢献を積極的にを行い、その内容を地域の皆さまに十分にご理解いただけるよう今後とも努力してまいります。

※当行にとっての「地域」とは、当行の主要な営業基盤である「宮城県」を念頭においています。

■地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

「地域密着型金融」とは、「お客様との親密な長いお付き合いの中で蓄積してきた情報を基に行っていく銀行取引」のことです。当行の地域密着型金融の推進に関する基本的な理念は、「1. 地域貢献に関する考え方」に記載した行是の理念そのものであり、行動の軌範として役職員に深く浸透しています。

七十七銀行では、こうした基本的な理念に基づき、以下を中期経営計画に定めています。当行はこの理念の実現に向け、これまで以上に地域社会の発展に貢献してまいります。

1. 目指す銀行像（中期経営計画「当行が目指す銀行像」）

「地域と共に新たな時代を創造する『Best ^{ベスト} creative ^{クリエイティブ} bank ^{バンク}』」

2. ステークホルダーに対する貢献(中期経営計画「重点施策」より)

(1) 地域経済発展への貢献

地域産業構造変換への対応、地元企業の育成・再生支援に取り組めます。

(2) 顧客満足度の向上

コンサルティング能力の向上とホスピタリティの追求により顧客満足度の向上を図ります。

■地域密着型金融推進計画（平成22年度）

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

○創業・新事業支援機能等を強化します。

目 標：創業・新事業支援実績件数：50件

○事業支援・経営改善支援機能等を強化します。

○事業承継、相続対策ニーズに積極的に対応します。

目 標：事業承継・相続提案件数：100件

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

○資金調達手段多様化への取組みを強化します。

目 標：財務制限条項活用融資実行金額：10,000百万円

目 標：ABL（アセット・ベース・レンディング：動産担保融資）取扱件数：10件

○行員の目利き能力の向上を図ります。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

○食製品および工業製品を対象としたビジネス商談会を開催します。

目 標：ビジネスマッチング情報提供件数：1,500件

○自動車関連産業やアグリビジネス等、地場産業の発展を支援します。

■金融円滑化の推進状況

当行では、地域金融機関として地域への円滑な資金の供給を通じ、地域経済の活性化を図るといった社会的責任を果たすため、お客さまの目線に立ち、新規のお借入および貸付条件変更等のご相談・お申込みに対して柔軟に取り組むなど金融の円滑化を積極的に推進しています。

◆貸付条件変更等の対応状況

平成21年12月4日の中小企業金融円滑化法施行後の貸付条件変更等の対応状況は以下のとおりとなっています。（平成22年9月末現在の累計）

<個人事業主や中小企業のお客さま>

	件数 (件)	金額 (百万円)
申込み	6,265	236,749
実行	5,388	211,927
謝絶	261	8,422
審査中	355	11,048
取下げ	261	5,351

<住宅ローンをご利用のお客さま>

	件数 (件)	金額 (百万円)
申込み	895	10,436
実行	680	7,935
謝絶	58	557
審査中	83	1,005
取下げ	74	937

■ご相談受付の体制

当行では、積極的な金融仲介機能の発揮を通じた金融円滑化の推進に向けた取組みを一層強化するため、全ての営業店およびローンセンターに、住宅ローンをご利用のお客さまおよび個人事業主や中小企業のお客さまを対象とした「ご相談窓口」を設置し、お客さまの事情に応じた、きめ細かなご相談に積極的に応じております。

《個人事業主や中小企業のお客さまを対象とした「ご相談窓口」》

ご相談内容：事業性資金に関するお借入やご返済に関するご相談

●各営業店における「金融円滑化相談窓口」

最寄りの営業店でお気軽にご相談ください。

- ・受付日：月曜～金曜（祝日、12月31日を除く）
- ・受付時間：午前9時～午後3時

注. 出張所、個人取引特化店（※1）および相談プラザ（※2）では事業性資金に関するご相談の受付はいたしておりません。

※1. 個人取引特化店：仙台駅前支店、富沢支店、明石台支店、杜せきのした支店、岩沼西支店

※2. 相談プラザ：エアリ相談プラザ、明石台相談プラザ、泉中央相談プラザ、長町相談プラザ、仙台駅前相談プラザ

●本店ローンセンターにおける「休日ご相談窓口」（平成23年3月27日（日）まで）

ご来店の際は事前に下記フリーダイヤルまでご連絡をお願いします。

- ・受付日：土曜・日曜・祝日
(但し、12月31日～1月3日および5月3日～5日は休業となります。)
- ・受付時間：午前9時～午後4時30分

●フリーダイヤルでのご相談（平成23年3月31日（木）まで）

0120-65-1077

- ・受付日：全日（但し、12月31日～1月3日および5月3日～5日は休業となります。)
- ・受付時間：午前9時～午後4時30分

《住宅ローンをご利用のお客さまを対象とした「ご相談窓口」》

ご相談内容：住宅ローンのお借入や毎月のご返済額、借入期間などのご返済に関するご相談

●各営業店における「金融円滑化相談窓口」

最寄りの営業店でお気軽にご相談ください。

- ・受付日：月曜～金曜（祝日、12月31日を除く）
- ・受付時間：午前9時～午後3時

●ローンセンターにおける「住宅ローン返済ご相談窓口」（平成23年3月31日（木）まで）

- ・受付日、受付時間：ローンセンター営業日・営業時間と同様（P15ご参照）
- ・各ローンセンターでは営業時間中、「住宅ローン返済相談フリーダイヤル」でもご相談を承っております。

ローンセンター名	ご返済相談フリーダイヤル
本店ローンセンター	0120-06-4377
長町ローンセンター	0120-52-4377
泉ローンセンター	0120-57-4377
仙台東口ローンセンター	0120-58-4377
古川ローンセンター	0120-70-4377
岩沼ローンセンター	0120-82-4377
石巻ローンセンター	0120-87-4377
杜せきのしたローンセンター	0120-89-4377

※受付日、受付時間：ローンセンター営業日・営業時間と同様（P15ご参照）

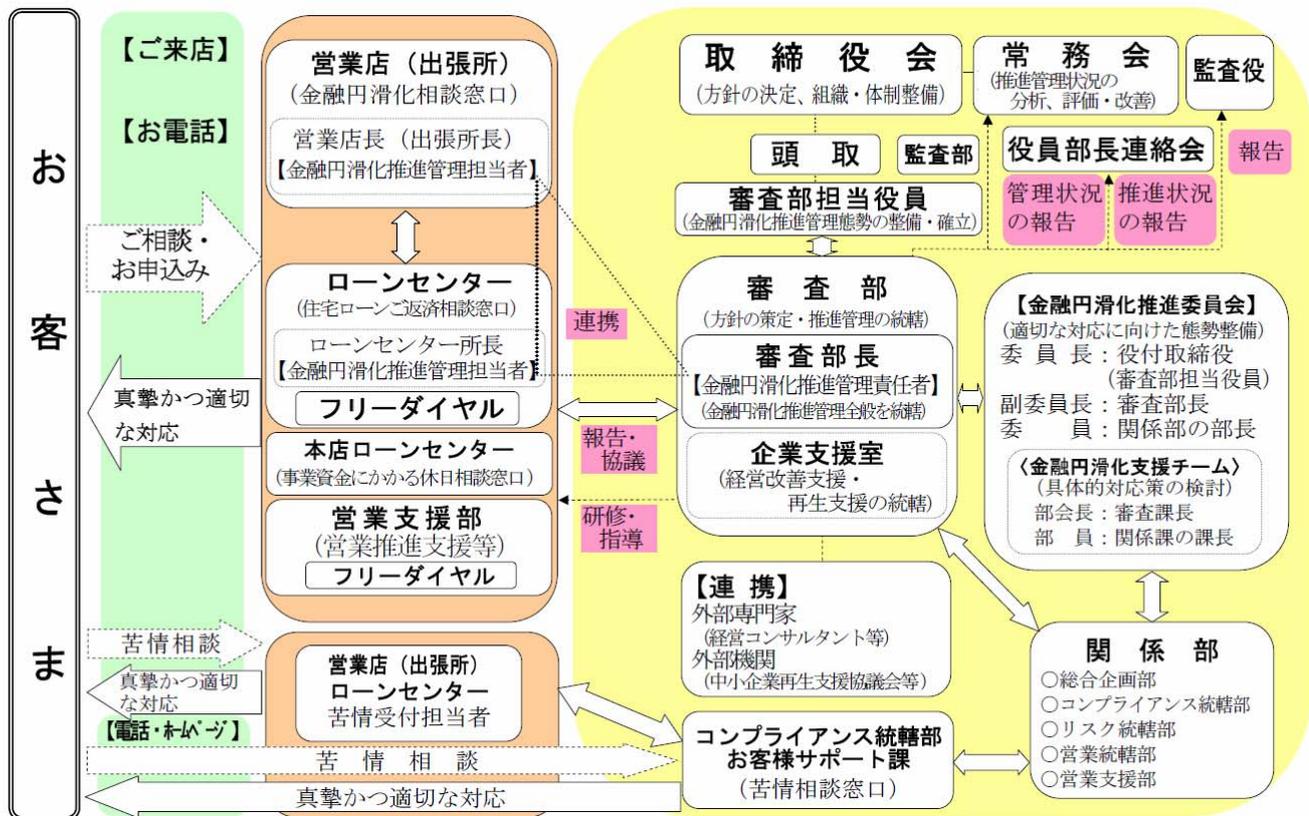
《苦情等のご相談に関する専用フリーダイヤル》

コンプライアンス統轄部 お客様サポート課

0120-3760-77

- ・受付日：月曜～金曜（祝日、12月31日を除く）
- ・受付時間：午前9時～午後5時

◆金融円滑化推進にかかる行内体制の概要



■その他金融円滑化への取組状況

◆景気対応緊急保証制度等への取組状況

当行では、景気回復が不透明な状況のなか、地域の中小企業の皆さまの資金繰り円滑化に向けた支援を一層強化するため、平成20年10月に要件が緩和されたセーフティネット5号の認定を活用した景気対応緊急保証制度等について、融資取引の有無にかかわらず訪問やダイレクトメールの送付などにより幅広く制度のご案内を行うなど積極的な取組みを行いました。

その結果、平成22年9月末までの取扱いは3,290件/717億円となり、多くの資金需要にお応えすることができました。

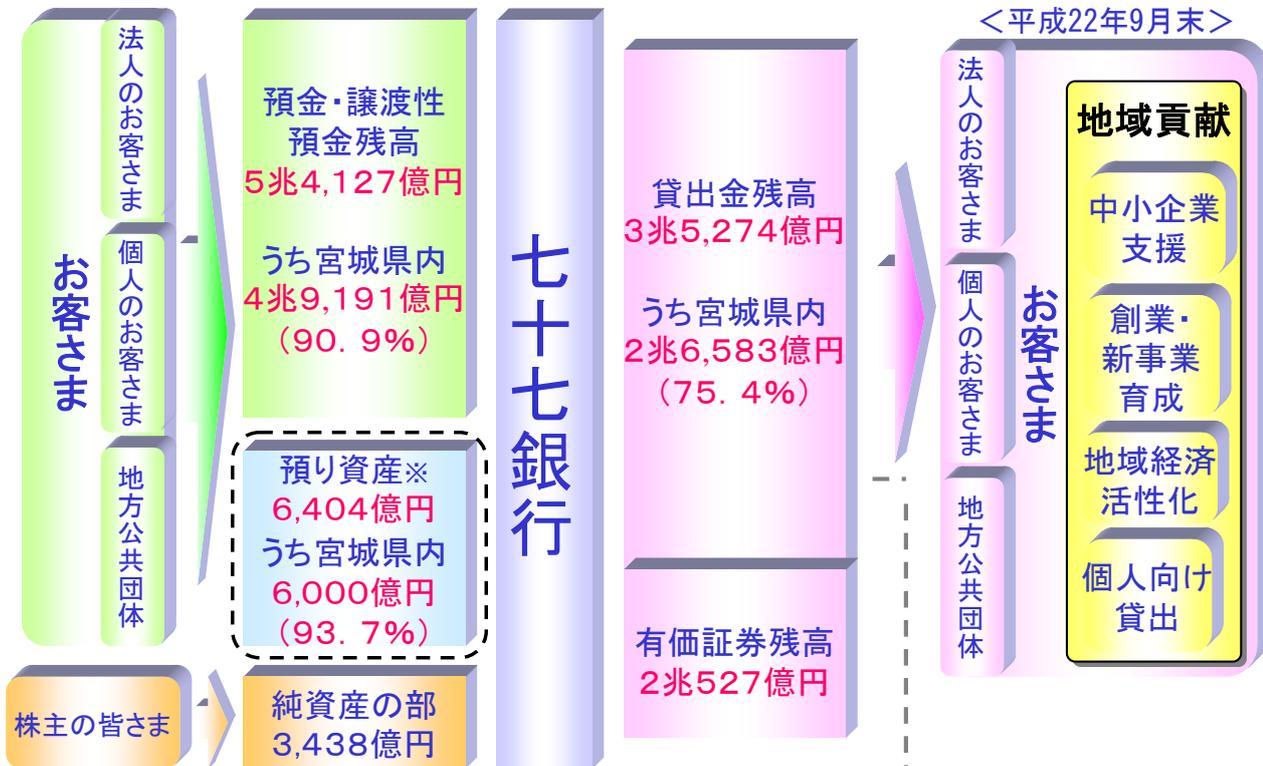
◆営業店長による訪問運動を通じたお客さまとの接点増加

平成22年度上半期には約2万3千先の法人・個人のお客さまへ営業店長を中心に訪問する運動を実施し、それ以後も随時訪問を継続するなどお客さまとの接点増加に努めています。

訪問の際には、営業店長自らがお客さまの生の声をお聞きするとともに、今後の資金繰りを含めたお客さまの経営課題や資産運用の悩み等を承り、問題解決に向けたアドバイスを実施しています。

(1) 貸出業務全般

七十七銀行は、地域への円滑な資金供給と利用者の皆さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供のため、利用者の皆さまからお預かりした預金等を、以下のように運用しています。



※「預り資産」は、外貨預金を除き当行の運用資産ではありません。

■業種別貸出金の状況

貸出金の業種別宮城県内向け割合をみると、貸出金残高ベースでは14業種中8業種において宮城県内向けが7割以上となっています。また、貸出先数ベースでは金融・保険業を除くすべての業種で宮城県内向けが7割を超えています。このように当行は、宮城県内のそれぞれの業種に対して、資金供給者として重要な役割を担っています。

<平成22年9月末>

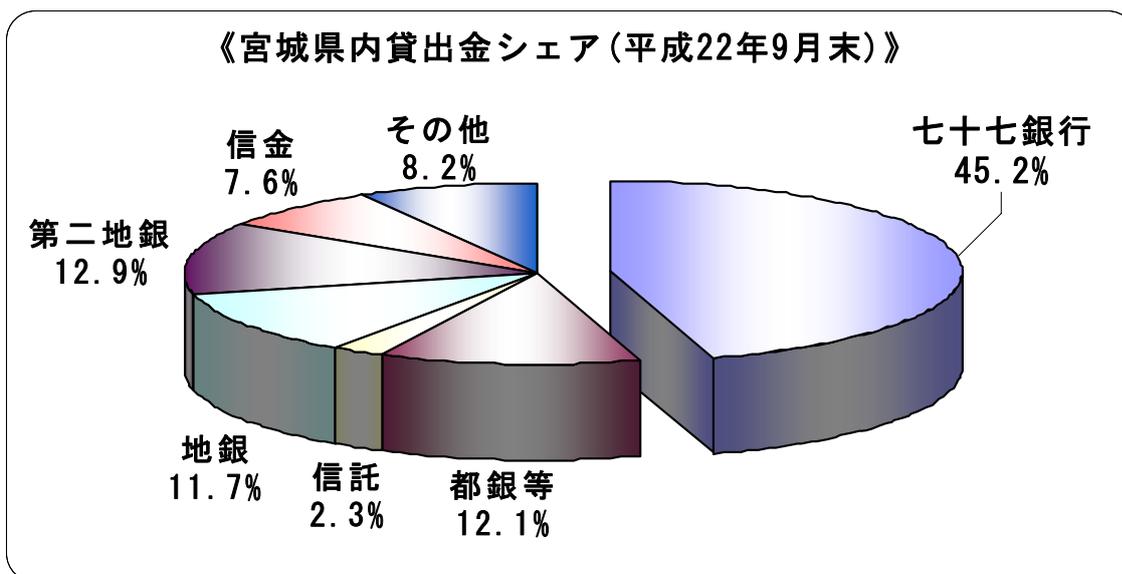
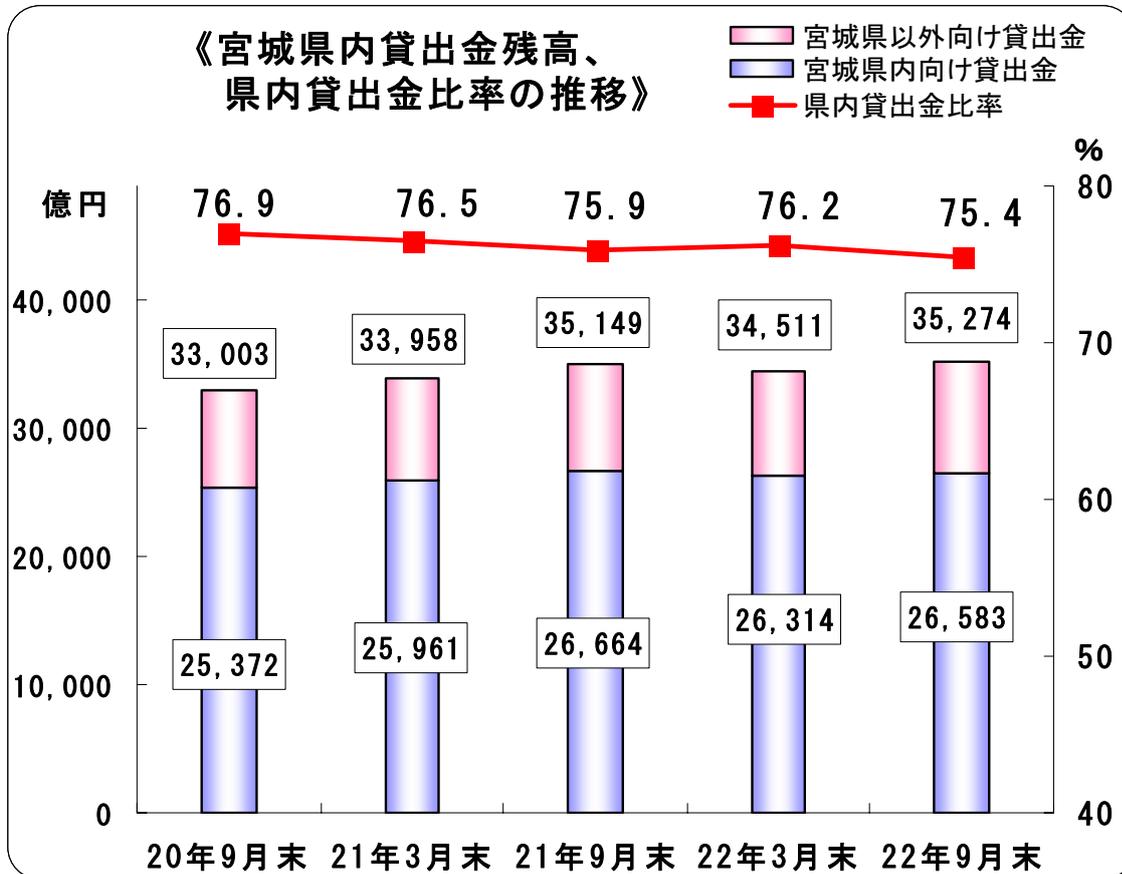
(単位：億円、先)

	貸出金残高	うち宮城県内向け		貸出先数	うち宮城県内向け	
			同比率			同比率
製造業	3,400	1,693	49.8%	1,715	1,447	84.4%
農業、林業	26	22	86.0%	103	95	92.2%
漁業	52	46	89.2%	49	39	79.6%
鉱業・採石業・砂利採取業	13	7	53.6%	13	12	92.3%
建設業	1,389	1,260	90.7%	2,591	2,479	95.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	743	609	82.0%	33	27	81.8%
情報通信業	400	125	31.4%	189	169	89.4%
運輸業・郵便業	640	293	45.9%	448	400	89.3%
卸売業、小売業	3,386	2,616	77.3%	3,214	2,884	89.7%
金融業、保険業	2,706	459	17.0%	89	33	37.1%
不動産業、物品賃貸業	5,172	2,840	54.9%	2,912	2,628	90.2%
その他サービス業	2,451	2,033	83.0%	3,761	3,491	92.8%
地方公共団体	7,027	6,960	99.0%	56	50	89.3%
その他	7,862	7,612	96.8%	164,354	158,274	96.3%
合計	35,273	26,583	75.4%	179,527	172,028	95.8%

※残高は単位未満切捨て

■宮城県内向け貸出金の状況

当行の貸出金のうち、約75%が宮城県内向け貸出となっています。また、宮城県内における当行の貸出金シェアは、45.2%と高水準を維持しています。



※ゆうちょ銀行、農漁協は含まれておりません。

(2) 中小企業向け貸出業務

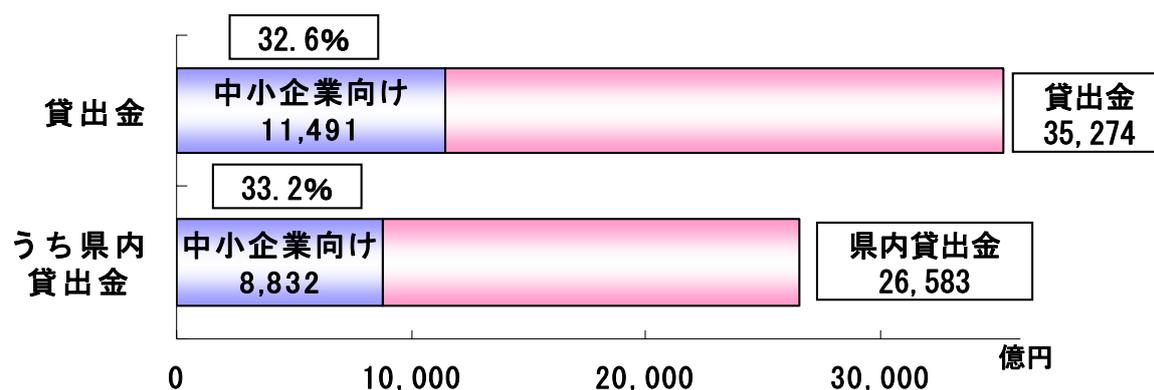
当行の貸出は、残高ベースで約33%が中小企業のお客さま向けとなっています。また、貸出先数(個人、地方公共団体を除く)では、貸出先の約97%が中小企業のお客さまです。

■ 中小企業向け貸出の状況

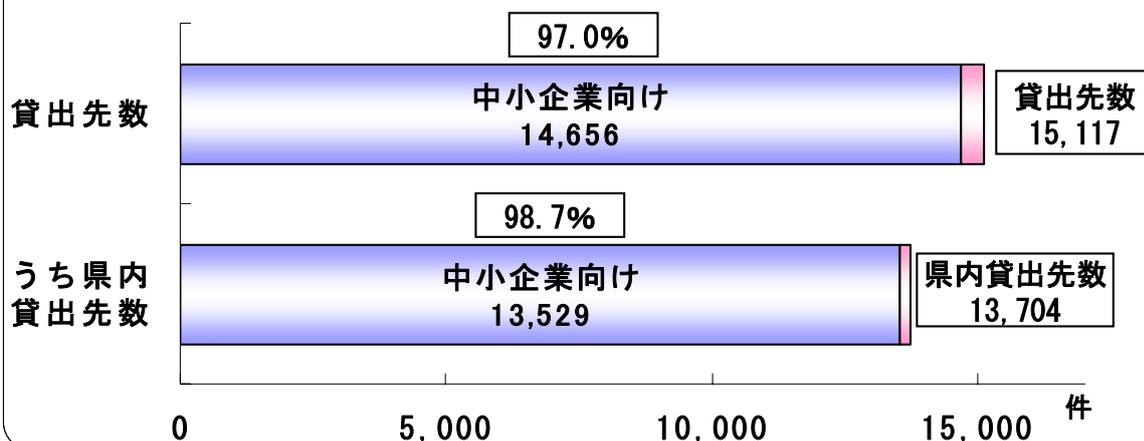
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち中小 企業向け		貸出先数 (個人、地方公 共団体除く)	うち中小 企業向け	
		金額	同比率		金額	同比率
平成21年9月末	35,149	11,472	32.6%	14,713	14,254	96.9%
うち宮城県内向け	26,664	8,851	33.2%	13,365	13,187	98.7%
平成22年9月末	35,274	11,491	32.6%	15,117	14,656	97.0%
うち宮城県内向け	26,583	8,832	33.2%	13,704	13,529	98.7%

《中小企業向け貸出金残高(平成22年9月末)》



《中小企業向け貸出先数(平成22年9月末)》

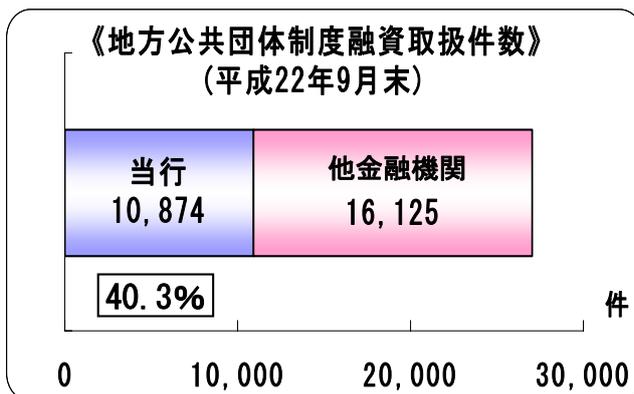
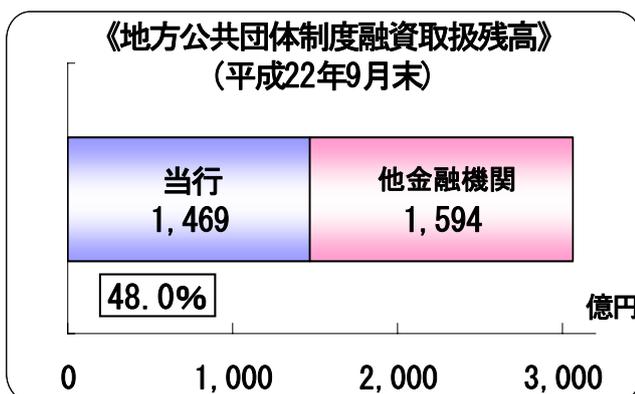
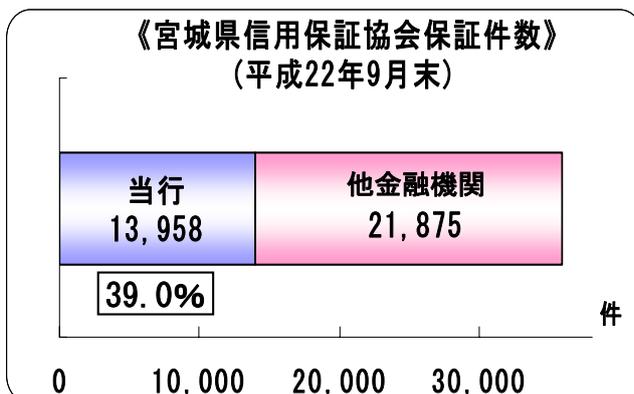
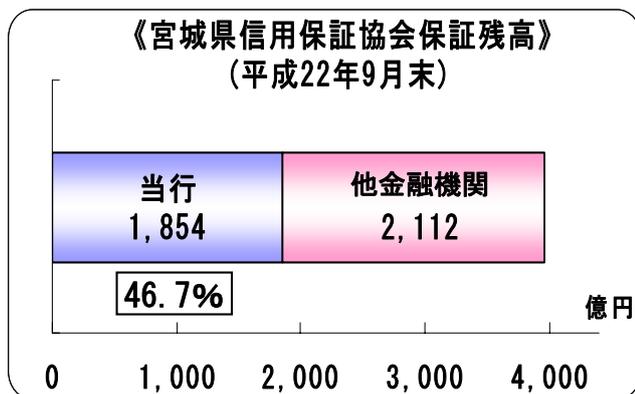


(参考) 宮城県内の従業者数300人未満の事業所数は約105千事業所(総務省「事業所・企業統計調査報告:平成18年10月1日」)であり、当行は宮城県内中小企業のほぼ8社に1社に対して貸出を行っていることとなります。

■宮城県信用保証協会付貸出・地方公共団体制度融資への取組状況

当行は、宮城県信用保証協会と連携し同協会保証付貸出を推進しています。同協会保証付貸出の当行の取扱シェアは残高で約47%、件数で約39%となっています。

また、地方公共団体の制度融資も積極的に推進しており、当行の取扱シェアは残高で約48%、件数で約40%となっています。



《主な保証協会保証付融資商品と当行取扱状況(平成22年9月末)》

商品名 (制度名)	商品の概要等	取扱件数 (件)	残高 (億円)
主 制 度 地 方 融 資 公 商 共 同 体	宮城県中小企業経営安定資金	宮城県内の中小企業を対象とし、一般資金と売掛債権担保活用資金、セーフティネット資金に区分されます。	5,611 / 1,064
	仙台市中小企業育成資金	仙台市内の中小企業を対象とし、振興資金と経済変動対策資金に区分されます。	2,545 / 281
	市町村中小企業振興資金	市町村の制度要綱に基づき、市町村長が認める企業を対象とした制度融資です。	1,941 / 96
事業者ローン(県信保口) (制度名: 合理化資金保証)	宮城県内で3年以上同一事業を営み、銀行が特に推薦する中小企業にご融資します。	80	9
中小企業特定社債保証	純資産が1億円以上の中小企業が発行する社債に銀行と共同保証します。なお、財務要件を満たす必要があります。	27	25
事業者カードローン(県信保口) (制度名: 事業者カードローン 当座貸越根保証)	ご契約極度額の範囲内であれば、いつでも自由にお使いいただけます。	1,579	81

※事業者カードローン残高は極度額を記載しています。

■ 77成長基盤支援ファンド

当行は、地域経済発展への更なる貢献を図るため、日本銀行が導入した「成長基盤強化を支援するための資金供給制度」の趣旨を踏まえ、「成長基盤分野に関する取り組み方針」を策定するとともに、平成22年8月より自動車、医療、介護、環境、農林水産関連の5業種を対象とした「77成長基盤支援ファンド」の取扱いを開始しました。

本ファンドの活用により、成長基盤分野に対する取り組みの強化を図るとともに、今後ともお客さまの多様化するニーズにお応えしてまいります。

■ 中小企業向け融資商品

当行では、その他にも中小企業のお客さま向けの以下のような融資商品を取り揃え、中小企業金融の円滑化に取り組んでいます。

《主な融資商品と取扱状況(平成22年9月末)》

商品名	商品の概要等	取扱 件数 (件)	残 高	
			(億円)	県内 比率
77パートナー スペシャルファンド	一定の財務要件を満たす優良企業を対象とした商品です。融資期間中の財務指標の変化に応じて金利を変更する財務制限条項をつけており、同条項を活用することで担保・第三者保証人を不要とするとともに、低利の固定金利資金を提供しています。	632	207	90.5%
77パートナー チャレンジファンド	一定の財務要件を満たす中堅・中小企業を対象とした無担保・第三者保証人不要の固定金利商品です。	374	47	92.8%
七十七社会貢献活動 支援ローン	環境保護関連活動、育児支援関連活動など、社会貢献活動にかかる資金としてご利用いただける融資商品です。	4	0.6	33.3%
77医療・福祉 ローン	病院や診療所、老人福祉施設など向けの融資商品です。	156	109	89.9%
77アグリ パートナー50	農業法人および農業を営む個人のお客さま向けの「無担保・第三者保証人不要」のご融資です。融資金額は最大5千万円、融資期間は最大7年であり、運転資金・設備資金にご利用いただけます。	3	0.3	100.0%
77アグリビジネス ローン 〈アクティブ〉	農業法人および農業を営む個人のお客さま向けの「スピード回答」「無担保・第三者保証人不要」のご融資で、運転資金・設備資金にご利用いただけます。 ※オリックス㈱の保証がご融資の際に必要になります。	17	0.6	94.6%
77ビジネスローン 〈フォワード30〉	当行との融資取引1年以上の中小企業および医療法人のお客さまに、運転資金としてご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要を特徴としています。	232	15	95.4%
77ビジネスローン 〈アクティブ30〉	〈アクティブ30〉は当行と融資取引のあるお客さまに、〈アクティブ10〉は融資取引のないお客さまにご利用いただけます。いずれも無担保・第三者保証人不要を特徴としています。また、融資期間は最長5年であり、運転資金・設備資金のほか、決算・賞与資金にもご利用いただけます。	387	16	96.4%
77ビジネスローン 〈アクティブ10〉	※オリックス㈱の保証がご融資の際に必要になります。	16	0.2	86.7%

(3) 個人向け貸出業務

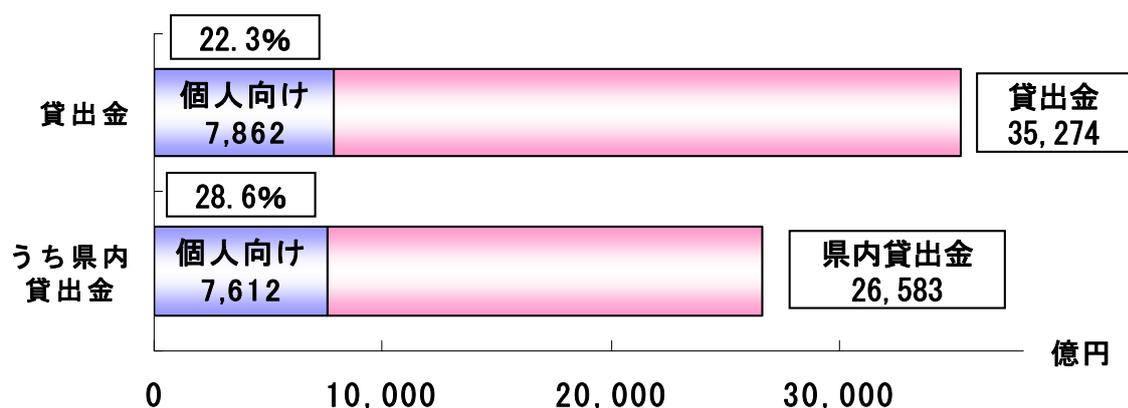
■ 個人向け貸出金の状況

当行の個人向け貸出比率は残高ベースで約22%となっています。また、宮城県内に限れば、残高の約29%が個人向けとなっています。

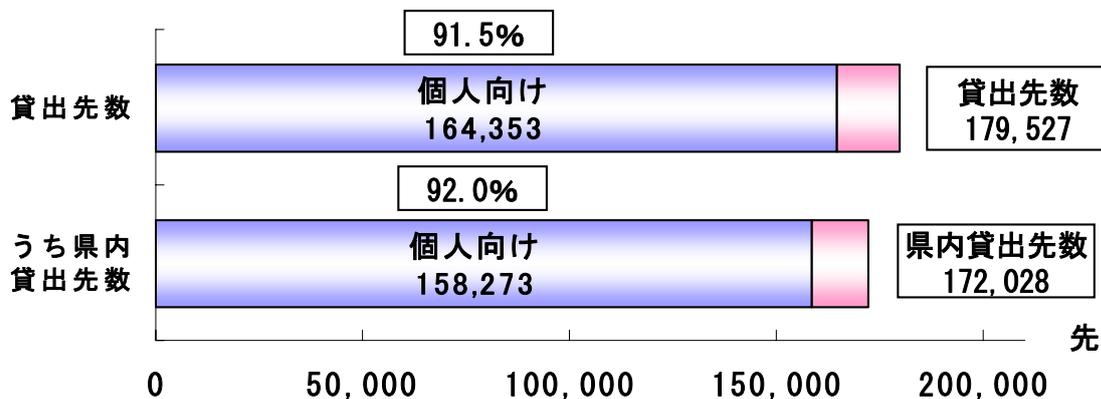
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち		貸出先数	うち	
		個人向け	同比率		個人向け	同比率
平成21年9月末	35,149	7,591	21.6%	181,713	166,945	91.9%
うち宮城県内向け	26,664	7,335	27.5%	174,000	160,586	92.3%
平成22年9月末	35,274	7,862	22.3%	179,527	164,353	91.5%
うち宮城県内向け	26,583	7,612	28.6%	172,028	158,273	92.0%

《個人向け貸出金残高(平成22年9月末)》



《個人向け貸出先数(平成22年9月末)》



■住宅ローンの取扱状況

当行の住宅ローンは、残高、件数ともに増加傾向にあります。当行の住宅ローンのうち、残高、件数とも約97%が宮城県内向けの取扱いとなっています。

(単位：億円、件)

	住宅ローン 残高			住宅ローン 件数		
		うち 県内向け	同比率		うち 県内向け	同比率
平成21年9月末	6,735	6,539	97.1%	54,560	53,024	97.2%
平成22年9月末	7,052	6,857	97.2%	55,746	54,211	97.2%

(参考) 宮城県内の持ち家世帯数は521千世帯(総務省「国勢調査：平成17年10月1日」)であり、当行は宮城県内持ち家世帯のほぼ10世帯に1世帯に対して貸出を行っていることとなります。

■個人向け融資商品の取扱状況

当行では、以下のような融資商品を取り揃え、個人のお客さまの様々な資金ニーズに対応しています。

《主な融資商品と取扱状況(平成22年9月末)》

商品名	商品の概要等	残高 (億円)	
		県内 比率	
住宅ローン	住宅の新築・増改築、建売住宅・マンション・土地の購入など住まいづくりのための資金調達、または他の金融機関で借入れしている住宅ローンのお借換えを目的としたローンです。	7,052	97.2%
くらしあっぷ ローン	ライフプランや目的に合わせて、マイカープラン、教育プラン、フリープラン、フリープランワイドの4種類をご用意しています。全て保証会社保証付の無担保・保証人不要のローンです。	117	96.4%
カードローン	当座貸越専用口座を開設するとともに、専用カードを交付し、そのカードにより現金自動支払機を利用して貸付けいたします。所定の極度額の範囲内であれば、反復して自由に借入可能なローンです。	222	94.3%
77モビットα (アルファ)	上記カードローンのうち、消費者金融会社の(株)モビットと保証提携しているカードローンです。24時間365日、電話、郵送、ファックス、インターネット、携帯サイトで簡単かつ短時間で申込みいただけ、審査結果はスピード回答いたします。また、当行とお取引がなくても申込可能となっています。	46 (注)	96.6%
上記のほか、居住用不動産に根抵当権を設定することにより反復してご利用できる資金使途が自由な「よゆうのローン」、各市町村と提携した提携ローンなどがあります。			

注：「77モビットα(アルファ)」は、平成22年4月19日に「77モビット」の商品内容をリニューアルし取扱いを開始しています。したがって、「77モビットα(アルファ)」の残高には「77モビット」の残高を含んでいます。

■取引チャネルの状況

◆ローンセンター

宮城県内8カ所に、個人向けローンを専門的に取扱う拠点としてローンセンターを設置しており、住宅ローンでは当行全体の取扱件数の約5割を取扱っています。

県内5カ所のローンセンターでは土曜・日曜営業を、県内3カ所のローンセンターでは日曜営業を行っており、より便利にご利用いただけます。

《ローンセンターの取扱状況：平成22年度上半期》

(単位：件、%)

		当行住宅ローン
当行全体の取扱件数	a	2,825
ローンセンターの取扱件数	b	1,318
ローンセンターの取扱比率	$b \div a$	46.7

◆取引チャネルの多様化等

お客さまの利便性を高めるため、取引チャネルの多様化を進めています。

当行ホームページでは、窓口にご来店いただくことなく、住宅ローンをはじめとした各種個人ローンのお申し込み（仮審査お申込）ができる「77ローンサービス」を行っています。※ご融資契約の際にはご来店が必要です。

また、当行ホームページには、住宅関連の総合情報を提供するサイト「77住まいづくり応援プラザ」を掲載しており、個人のお客さまのライフプランに合わせた各種情報やシミュレーション機能をご利用いただけます。

《取引チャネル別消費者ローン受付状況：平成22年度上半期》

(単位：件)

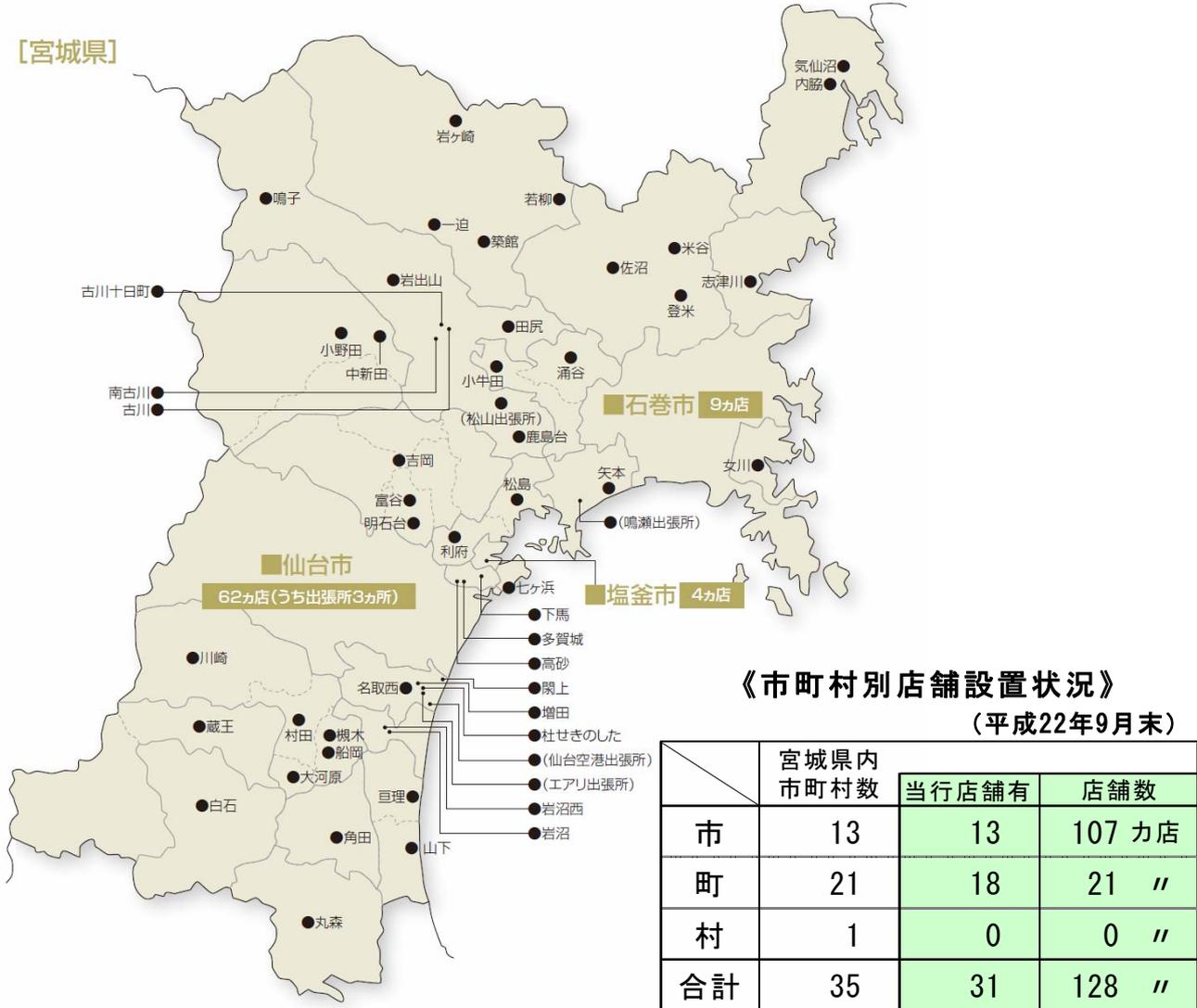
	住宅ローン	くらしあっぷローン等	77モビットα等	合計
店頭	3,449	3,870	1	7,320
電話	—	—	589	589
FAX	—	619	54	673
インターネット	121	548	118	787
郵送	—	833	101	934
携帯サイト	—	—	663	663
合計	3,570	5,870	1,526	10,966

(1) 店舗網等各種チャネルの整備

■ 有人店舗の状況

◆ 店舗網

当行は、出張所を含め142カ店のうち、宮城県内に128カ店を展開しています。
(平成22年9月30日現在)



◆ お客さまのご来店状況

当行の宮城県内の店舗では、一日あたり約162千件のご利用をいただいています。

《お客さまご利用件数：平成22年度上半期》

	総ご利用件数	うち 宮城県内店舗 ご利用件数	一日平均	
			一日平均	一店舗平均
窓口ご利用件数	3.3 百万件	3.2 百万件	25,906 件	181 件
A T Mご利用件数	25.0 //	24.4 //	136,103 //	1,072 //
合計	28.3 //	27.6 //	162,009 //	1,253 //

※「窓口ご利用件数」は窓口での受付件数を、「A T Mご利用件数」は店舗内 A T Mのご利用件数を示しています。

◆休日営業等への取組み

当行では、お客様の利便性向上のため、「相談プラザ」や「ローンセンター」において、休日営業等を実施し、お客さまにより便利にご利用いただけるよう努めています。

また、各ローンセンターでは、住宅ローンをご利用の皆さまを対象とした「ご返済相談窓口」を、本店ローンセンターでは、個人事業主や中小企業の皆さまを対象とした事業資金にかかる「休日相談窓口」を設置いたしております。

《相談プラザ・ローンセンターの営業日・営業時間》

相談プラザ・ローンセンター名	営業日・営業時間
エアリ相談プラザ (イオンモール名取エアリ内)	年中無休:午前10時～午後10時
明石台相談プラザ (明石台支店内)	平日:午前9時～午後5時 土曜・日曜・祝日:午前10時～午後5時 (12月31日～1月3日は休業)
泉中央相談プラザ(泉中央支店2階) 長町相談プラザ(長町支店2階)	平日・土曜・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、土曜・日曜以外の祝日は休業)
仙台駅前相談プラザ (仙台駅前支店内)	平日:午前9時～午後4時30分
本店ローンセンター	平日:午前9時～午後3時 土曜・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、土曜・日曜以外の祝日は休業)
長町ローンセンター 泉ローンセンター 仙台東口ローンセンター	平日・土曜・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、土曜・日曜以外の祝日は休業)
古川ローンセンター 岩沼ローンセンター	平日:午前9時～午後3時 日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、日曜以外の祝日は休業)
石巻ローンセンター	平日・日曜:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日、日曜以外の祝日は休業)
杜せきのしたローンセンター	平日・土曜・日曜・祝日:午前9時～午後4時30分 (5月3日～5日、12月31日～1月3日は休業)

※本店、仙台東口の各ローンセンターの土曜・日曜、古川、岩沼の各ローンセンターへの日曜のご来店につきましては、事前の予約が必要です。

■A T Mの状況

◆A T Mネットワーク

当行は、宮城県内のキャッシュサービスコーナー370カ所（店舗内128、店舗外242）に、A T M882台を設置しています。（平成22年9月30日現在）また、イーネット、ローソン・エイティエム・ネットワークス、セブン銀行およびイオン銀行とA T M利用提携を行っており、全国約3万5千台のコンビニA T M等でキャッシュカードを利用した出金・残高照会等の取引がご利用いただけます。

また、山形銀行、東邦銀行とのA T M相互利用サービス「MYキャッシュポイント」、県内6金融機関（仙台銀行、杜の都信用金庫、宮城第一信用金庫、石巻信用金庫、仙南信用金庫、気仙沼信用金庫）のA T M相互利用サービス「みやぎネット」に加え、平成21年5月からは、東北銀行、北日本銀行と平日昼間の出金手数料を無料とするA T M相互利用サービスを実施しております。

当行はお客さまの利便性をより一層向上させるため、今後もサービスの拡充をはかってまいります。

《キャッシュサービスコーナー、A T Mの設置状況(平成22年9月末)》

(単位:カ所、台)

	キャッシュサービスコーナー		A T M 設置台数	
		うち宮城県内		うち宮城県内
七十七銀行	385	370	909	882
セブン銀行	13,683	338	14,948	351
イーネット	10,713	293	10,761	293
ローソン・エディエム・ネットワークス	7,776	161	7,781	161
イオン銀行	1,556	37	1,671	37

※ローソン・エディエム・ネットワークスの宮城県内の数値は当行管理分のみ。

《A T Mのご利用件数：平成22年度上半期》

総合計	うち宮城県内キャッシュサービスコーナー			
		一日一台あたり		
			店舗内	店舗外
42.2百万件	41.4百万件	284件	251件	345件

※店舗外A T Mを含めたご利用件数を示しています。

◆キャッシュカードを利用する取引にかかるセキュリティ強化への取組み

偽造・盗難キャッシュカード等による預金の不正引出し被害が増加し、社会問題していることから、当行ではキャッシュカード取引にかかるセキュリティ強化に積極的に取り組んでいます。お客さまの大切なご預金をお守りするため、1日あたりの払戻限度額を200万円に設定するとともに、その範囲内でお客さまが任意に払戻限度額を設定できるサービスを行っています。

また、個人のお客さまを対象に、よりセキュリティの高いI Cキャッシュカードおよび「手のひら静脈」による本人確認の取扱いを行っています。当行のキャッシュコーナーに設置しているすべてのA T Mでご利用いただけます。

◆通帳繰越機能付記帳機の設置

当行では、通帳繰越機能付記帳機を116カ店/118台設置しております。また、上記のうち39カ店/40台につきましては、お客様により便利にご利用いただけるよう通常平日午後3時までの稼働時間を午後4時30分(ただし、エアリ出張所については平日午後8時)まで延長しております。

■休日におけるお客さまのトラブル対応

偽造・盗難キャッシュカード被害の未然防止策として、お客さまからのキャッシュカード紛失・盗難等の事故のお届けを、24時間受付する体制を整備しています。

お通帳、キャッシュカード等の紛失等緊急の場合のご連絡先
(24時間365日受付)
フリーダイヤル [0120-77-1099]

※ATM操作時にトラブルが発生した場合は、キャッシュサービスコーナーに備付のガイドフォンをご利用下さい。

■チャネル多様化の取組状況

当行は、お客さまの多様なニーズにお応えし、店舗にご来店いただかなくとも直接ご利用いただけるよう、以下のようなダイレクトチャネルを充実させてまいりました。

◆テレフォンバンキング

電話による残高・入出金照会、振替、振込がご利用いただけるサービスです。お取引時間は平日の9時から19時までで、自動音声による対応とオペレーターによる対応があります。

また、あらかじめ登録された利用口座については、ご住所の変更手続や1日あたりのキャッシュカード払戻し限度額の引下げ等もご利用できます。

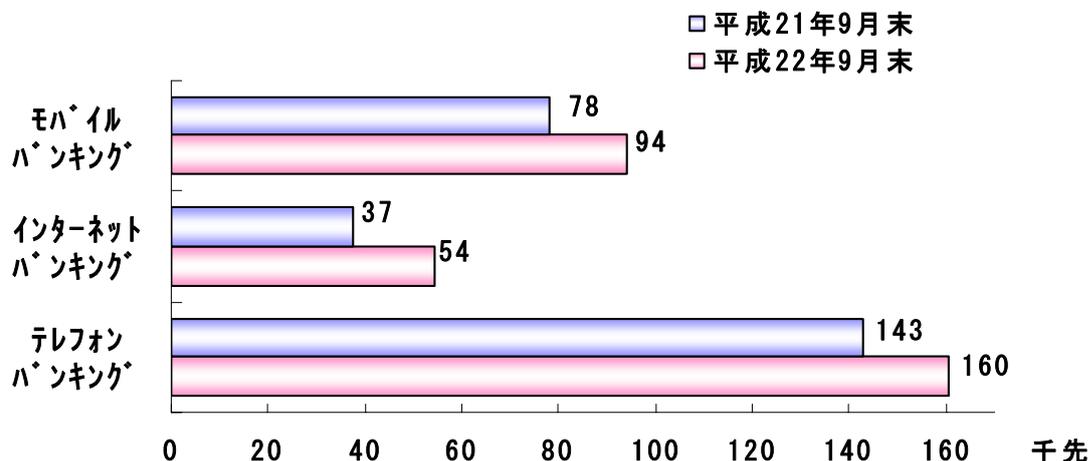
◆インターネットバンキング

お客さまのパソコンからインターネットによりお取引いただくサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、定期預金作成・解約予約、投資信託取引、税金・各種料金払込み「Pay-easy（ペイジー）」が24時間（一部のサービスを除きます。）いつでもご利用いただけます。

◆モバイルバンキング

「iモード」、「EZweb」、「Yahoo!ケータイ」対応の携帯電話でご利用いただけるサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、税金・各種料金払込み「Pay-easy（ペイジー）」（オンライン方式に限ります。）が24時間（一部のサービスを除きます。）いつでもご利用いただけます。また、電子マネー取引が急拡大するなか、「電子マネー『E dy』チャージサービス」（「iモード」、「EZweb」対応の携帯電話に限ります。）の取扱いも行っております。

《ダイレクトチャネルの宮城県内会員数》

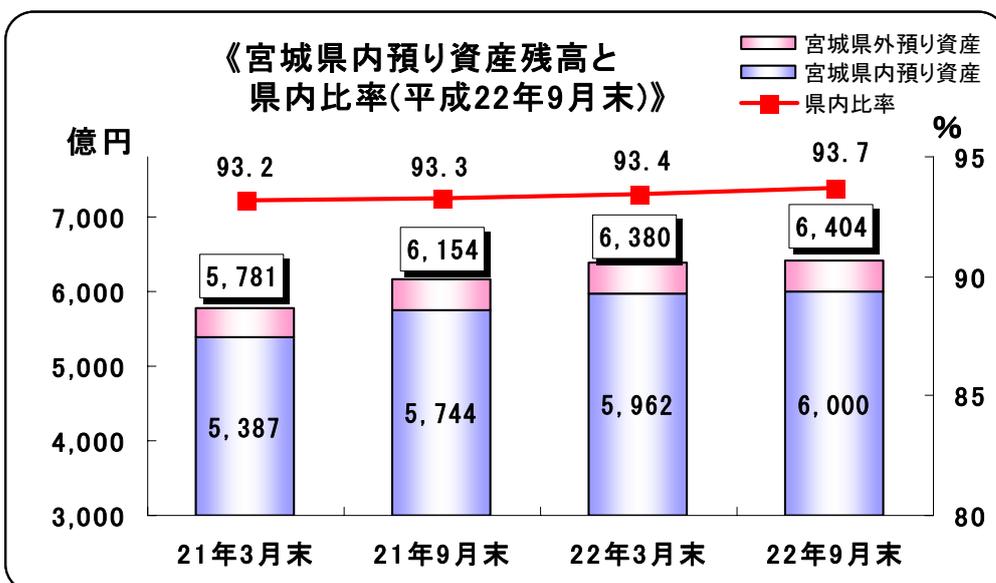
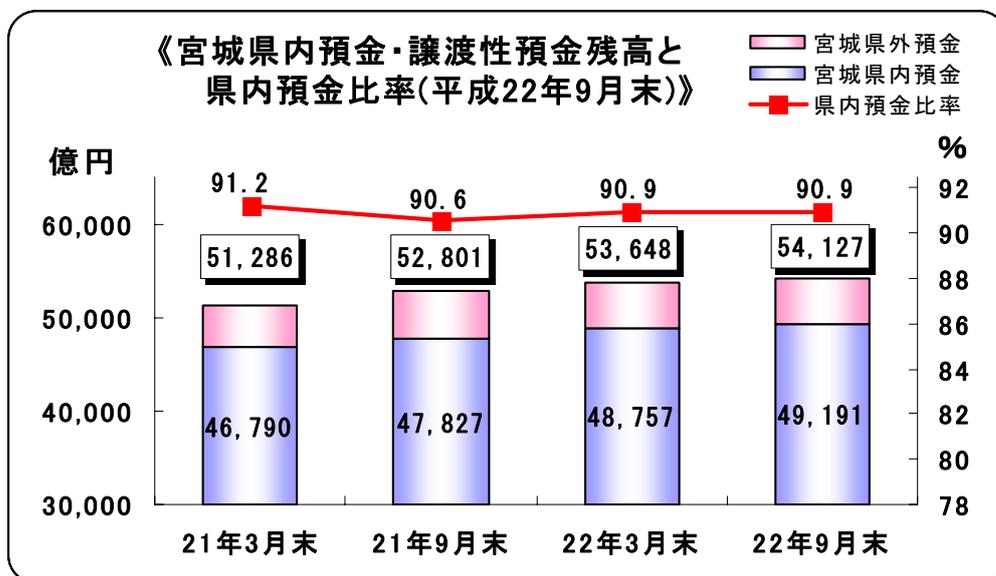


※モバイルバンキング、インターネットバンキング会員は、入会の条件として、テレフォンバンキング会員である必要があります。

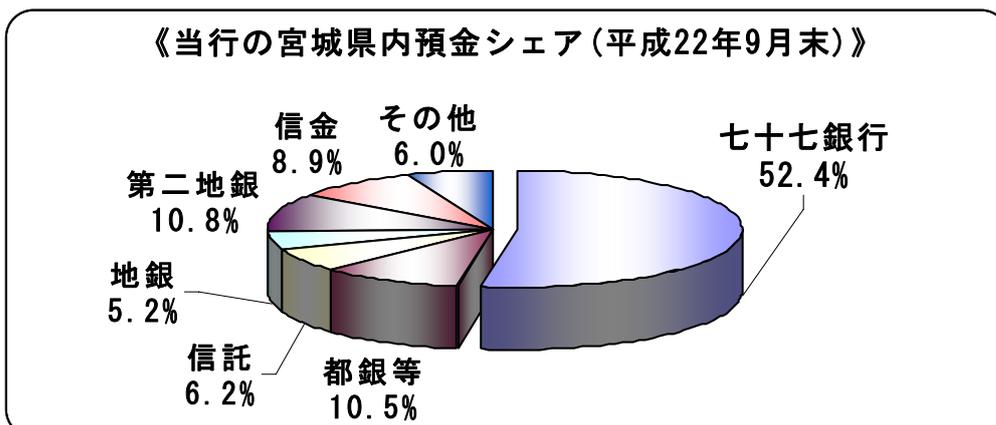
(2) 預金業務等

■ 宮城県内の預金等の取引の状況

当行は、預金・譲渡性預金や投資信託等の預り資産のいずれも、その9割以上を宮城県内のお客さまからお預りしています。預金については、金融機関の健全性が重要視されるなか地域のお客さまから高いご支持をいただき、県内シェアは52.4%となっています。



※預り資産には外貨預金を含んでおります。

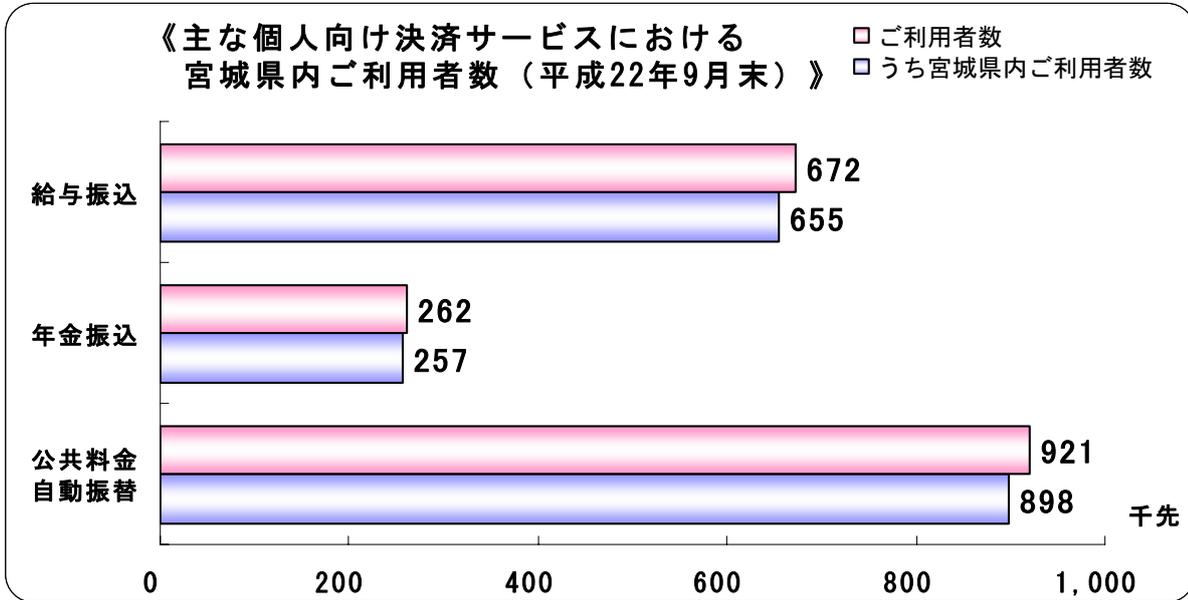


※ゆうちょ銀行、農漁協は含まれておりません。

(3) 決済サービス

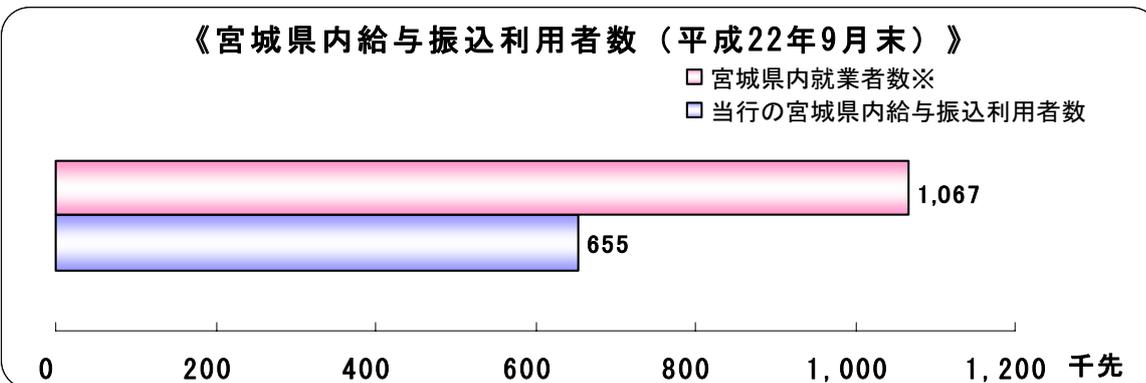
■ 主な決済サービスの宮城県内利用状況

個人のお客さまにご利用いただく当行の主な決済サービスの約98%は、宮城県内にお住まいのお客さまにご利用いただいています。

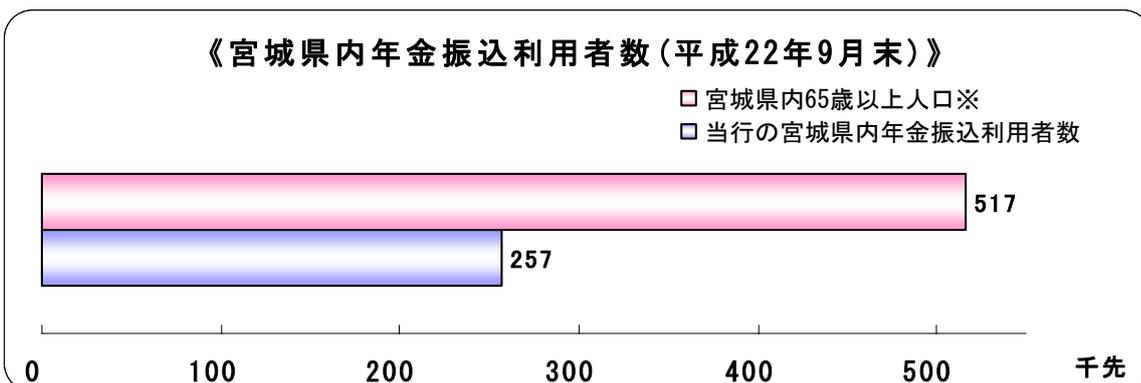


■ 給振・年金振込利用者の当行利用状況

当行の口座を利用して給与を受取る宮城県内のお客さまは、宮城県内従業者数の6割を超え、同様に年金を受取る皆さまは、宮城県内65歳以上人口の約5割となっているなど、地域の多くの皆さまから家計のメインバンクとしてご利用いただいています。



※資料：総務省「平成18年事業所・企業統計調査報告」



※資料：総務省「平成22年住民基本台帳人口要覧」

(4) その他のサービス

■ 地域の皆様への情報提供

◆ 地元企業の研修会等のサポート

当行では、地域の皆様をお招きする著名な講師による政治・経済をテーマとした講演会や、地元企業の皆さまの企業経営・社員教育等に役立つような各種のセミナー、研修会を開催しています。また、お取引先企業への講師派遣も行っています。

《講演会・研修会の実績（平成22年度上半期）》

夏季経済講演会	平成22年7月、公益財団法人七十七ビジネス振興財団との共催で開催しました。講師にBNPパリバ証券会社 東京支店 経済調査本部長 チーフエコノミストの河野 龍太郎氏をお招きし、「日本経済の見通し」と題して講演いただきました。当日は地域の皆さま約200名に出席いただきました。
地域振興部長等による講演会	お取引先企業など7先に、地域振興部長・部員を派遣し、講演会・研修会で講演を行いました。
新入社員研修会	平成22年4月、本店ほか4会場にて計7回開催しました。参加人数は約440名で、社会人として必要な挨拶・電話応対等を中心に研修を行いました。
接遇対応研修会	お取引先企業など11先に対し、講師を派遣しました。

◆ 各種調査結果の公表

○ 「調査月報」(年12回発行)

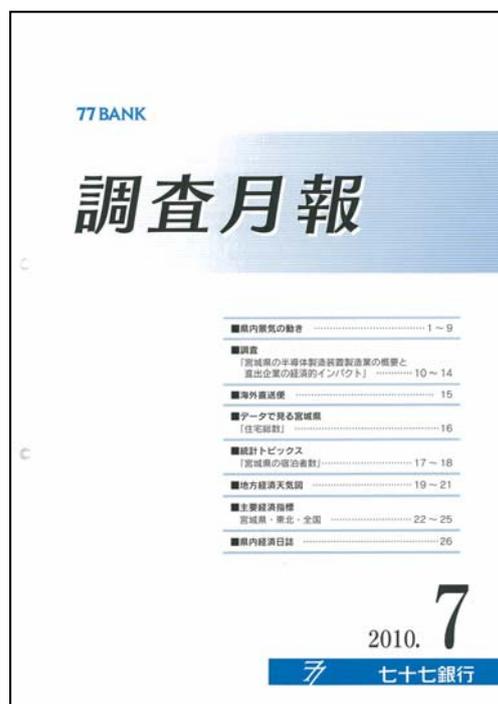
宮城県内の経済・景気動向を調査・分析しています。HPでも公開しています。

○ 「県内企業動向調査」(年4回実施)

宮城県内約850社の企業を対象に、県内の景況感等の把握を目的としたアンケート調査を実施し、分析結果を公表しています。

○ タイムリーなテーマ等についての調査・公表

平成22年度上半期は、宮城県の半導体製造装置製造業の概要と進出企業の経済的インパクトについて調査し、調査月報2010年7月号に掲載しました。



◆「七十七『相続』相談ホットライン」

高齢化社会の進展を背景とした相続にかかる相談ニーズの高まりに応え、「七十七『相続』相談ホットライン」を開設しています。相談には当行行員がお応えするほか、弁護士、税理士等の専門家へのお取次ぎも致します。専門家と個別に契約する場合を除き、料金は無料です。どなたでもお気軽にご利用いただけます。

「七十七『相続』相談ホットライン」
フリーダイヤル [0120-7838-77]
 受付時間 (平日 9:00~17:00)

《「七十七『相続』相談ホットライン」
 相談受付実績(平成22年度上半期)》

(単位：件)

法律 241	税務 73	その他 142
--------	-------	---------

◆年金講演会、相続セミナーおよび資産運用セミナー等の開催

お客さまに公的年金や相続についてご理解を深めていただくために、年金セミナーや相続セミナーを開催しています。

また、金融資産の運用に関する情報をご提供するために、当行のマネーアドバイザーや外部講師による資産運用セミナー、投資信託セミナーを開催しています。

各種セミナーは、宮城県内各地で休日も含め開催しており、多くのお客さまに参加いただいています。

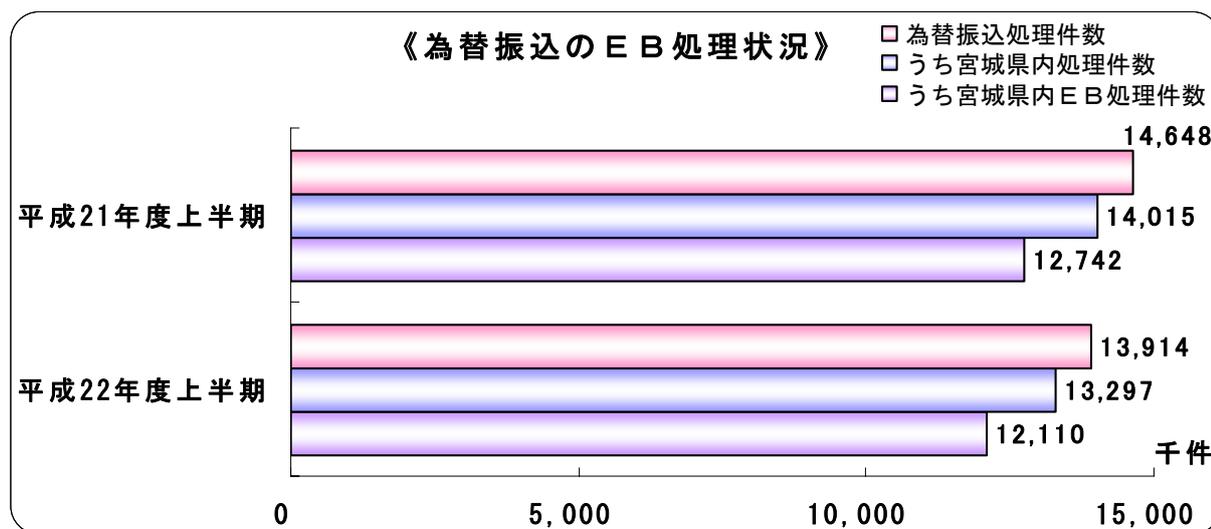
《各種セミナー等の開催状況(平成22年度上半期)》

	年金講演会 (うち休日開催)	資産運用セミナー (うち休日開催)	投資信託セミナー	相続セミナー (うち休日開催)
開催回数	3回 (1回)	33回 (13回)	3回	2回 (1回)
開催場所	エル・パーク仙台 ほか累計2カ所	長町支店 ほか累計10カ所	ホテルメトロポリ タン仙台	エアリ相談プラザ ほか累計2カ所
参加人数 (累計)	75名	362名	301名	15名

■ E B等の推進

当行では、お待たせしない窓口づくりの一環として、為替振込等取引の電子化(E B)等を推進しています。インターネットバンキングなどのE B媒体やA T M等をご利用いただければ、窓口でお待ちいただくことなく取引できることに加え、窓口ご利用の場合と比べて振込手数料がお安くなります。

現在、当行の為替振込処理のうち約96%が宮城県内のお客さまからのご依頼分であり、そのうち約9割をA T M、インターネットバンキング、ファームバンキング等にてお取扱いしています。



《F B契約先数 (平成22年9月末)》

(単位：先)

F B契約先数	セブンメイト・セブンメイトPC		セブンメイトWeb		
	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内	
16,620	15,515	3,315	3,209	9,029	8,561

■ その他のサービス

◆ 〈七十七〉ポイントセブン

〈七十七〉ポイントセブンは、給与振込・年金振込等のお受取や公共料金の自動支払などお客様のお取引をポイントに換算し、合計ポイント数に応じてA T Mや振込ご利用時の手数料およびローン金利の割引等の特典を提供する、個人のお客様を対象としたサービスです。ポイントは毎月末日のお取引状況に応じて集計し、翌々月から1ヶ月間特典を提供します。当行で給与振込、年金振込、住宅ローンご利用のお客様は原則自動加入となっており、最大3店舗までのお取引ポイントを合算することが可能です。ポイントは〈七十七〉の窓口、A T M、〈七十七〉インターネットバンキングや〈七十七〉モバイルバンキングでも確認できます。

平成21年5月からは、コンビニA T Mの利用手数料優遇(月2回まで)やポイント対象取引の追加など、優遇サービスを追加・拡大してご提供しています。

■子会社等を通じた利便性の提供

◆リース業務

グループ会社の「七十七リース」においてリース業務を行っています。主として宮城県内企業に対し、ファイナンスリース等を取扱っています。

《宮城県内事業所に対するリース契約状況(平成22年9月末)》

リース契約先数(先)	うち宮城県内(先)	
	先数	同比率(%)
3,711	3,406	91.8%

◆クレジットカード業務

グループ会社の「七十七カード」において、クレジットカード業務を行っています。J C B、V I S A、M a s t e r の各カードを取扱っています。

《宮城県在住の七十七カード個人会員の状況(平成22年9月末)》

	七十七カード 個人会員数(人)	うち宮城県内(人)	
		人数	同比率(%)
J C B	126,881	115,867	91.3%
V I S A	48,020	44,908	93.5%
M a s t e r	2,413	2,241	92.9%
合 計	177,314	163,016	91.9%

◆計算業務等の受託

グループ会社の「七十七コンピューターサービス」において計算業務等の受託を行っています。

《宮城県内事業所からの計算業務等の受託状況(平成22年9月末)》

	受託事業所先数(先)	うち宮城県内(先)	
		先数	同比率(%)
民間事業所	77	76	98.7%
地方公共団体	26	26	100.0%
その他	5	5	100.0%
合 計	108	107	99.1%

◆労働者派遣業務

グループ会社の「七十七スタッフサービス」において労働者派遣業務を行っています。当行への派遣のほか、宮城県内企業に対する派遣を行っています。

■お身体の不自由なお客さま等に安心してご利用いただくための取組例

当行では、お身体の不自由なお客さま等に当行を安心してご利用いただくため、以下のようなさまざまな取組みを行っています。

◆身体障がい者補助犬の受入の表示

身体障がい者補助犬の店舗内受入れを行っており、各営業店の入口には、ステッカーを貼付しています。



◆店舗入口へのスロープ設置、段差解消

車いすでの入店がしやすいよう、店舗入口へのスロープの設置や段差解消を積極的にすすめています。

◆音声案内機能付ATMおよび誘導点字ブロックの設置

視覚に障がいをお持ちのお客さまにより便利にご利用いただけるように、キャッシュサービスコーナーのある全営業店140カ店に音声案内機能付ATM（注1）を設置するとともに、誘導点字ブロックの設置をすすめています。

（注1）ATMに付属した受話器からの操作誘導音声ガイダンスに従い、受話器に付いたテンキーボタンにて操作ができる機能の付いたATMです。

◆コミュニケーションボード、筆談ボードおよび聴覚障がい者誘導表示板の設置

窓口で会話等に不安のあるお客さま（聴覚に障がいをお持ちのお客さま・外国人・ご高齢の方等）が安心してご利用いただけるよう、来店・取引目的等の確認を行うための「コミュニケーションボード」（注2）や「筆談ボード」を全営業店に導入しております。

なお、各営業店の店頭には、聴覚に障がいをお持ちのお客さまに対して窓口で筆談対応を行う旨の「聴覚障がい者誘導表示板」を掲示し表示しています。

（注2）全国銀行協会で作成した、代表的な取引や手続等を絵記号化したものです。



◆視覚などに障がいがあるお客さまに対する窓口扱い振込手数料の引き下げ

視覚などに障がいをお持ちで、ATMでのお振込みのご利用が困難なお客さまに対する窓口扱いの振込手数料を当行キャッシュカードを利用しATMでお振込みを行った場合の振込手数料と同額に引き下げています。

◆点字サービス

普通預金残高等について、点字による通知書を四半期毎に作成し、郵送する「視覚障がい者向け点字サービス」を実施しています。

◆「音声コード」の表示

当行のリーフレット「ATM活用ガイド」には、「音声コード」を表示しており、専用の読取り機を使用することで、音声による再生案内ができるようになっています。

◆視覚などに障がいがあるお客さまとのお取引の際の対応

視覚などに障がいがあるお客さまから代筆による預金引出し等の申出があった場合のお取扱いについては、手続きを定め行内に徹底しております。

当行では、今後もお客さまに公平な金融サービスを提供するための取組みをすすめていきます。

(1) 地元企業のサポート

■ 資金調達手段の多様化への対応等

◆ 私募債の受託・引受

当行では、「銀行保証付私募債」、「県信保付私募債」の受託および引受を行っております。当行がその元利金支払を全額保証する「銀行保証付私募債」では、期日一括償還型のほか、定時償還型も取扱い、お取引先企業の資金調達ニーズに幅広くお応えしております。なお、平成22年9月末の取扱残高は、120件110億円となっております。

◆ 動産担保融資（ABL）への取組み

当行では、地元企業の円滑な資金調達を支援するとともに、お取引先に対して多様な資金調達手法を提供する観点から、積極的に動産担保融資（ABL）に取り組んでいます。

ABLサービス提供大手のトゥルーバグループホールディングス㈱との提携により、棚卸資産の適正な評価、管理を行うとともに、保証協会付ABLへの取組みを強化し、お取引先の棚卸資産を担保として取得、融資枠を設定することで、お取引先の資金ニーズに対して機動的かつ安定的な資金調達手法を提供しております。その結果、平成22年度上半期のABL新規取扱件数は6件となり、機械部品や日本酒等さまざまな棚卸資産を担保としたABLを実行しました。



◆ アグリビジネスへの取組強化

当行では、農業者向け融資商品の充実、ビジネスマッチングへの積極的な取組み、「農業経営アドバイザー」資格の取得者（合計10名）の活用等を通じて、アグリビジネスの育成・振興を図っております。

■ お取引先企業への情報提供等

◆ <七十七> 食材セレクション

当行では、お取引先の販路拡大ニーズにお応えするため、当行ホームページにおいて「食」に関するお取引先を紹介するビジネスマッチングサイト「<七十七>食材セレクション」を開設しました。このサイトには、食品カテゴリーごとにお取引先の企業情報等を掲載することにより、お取引先の取扱商品をPRするとともに、ビジネスマッチングの機会を提供することを目的としております。

◆ビジネス商談会の開催

当行では、お取引先の皆様の新たなビジネスチャンスを創出するビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

平成22年6月、新たなビジネスチャンスを創出する場として、宮城県と共催で「みやぎビジネス商談会」を開催しました。宮城県の主力産業である食料品にテーマを絞って開催し、仕入企業・納入企業が約500件の活発な商談を行いました。



平成22年11月には、当行を含め地銀32行が連携し、首都圏への販路開拓ニーズのある32行のお取引先約600社（うち当行取引先25社）が出展し、流通、外食等の仕入企業に対し、こだわりの食材をPRする「地方銀行フードセレクション2010」を東京で開催しました。

また、平成23年1月には、当行、宮城県、山形県、山形銀行、ならびにやまがた食産業クラスター協議会が連携して「おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会」を開催し、太平洋と日本海に面した両県の特色ある食材をスーパー・百貨店等の仕入企業に対してPRします。

当行は、今後とも商談会等によるビジネス機会の創出を通じて、地域の皆さまのニーズにお応えしていきます。

《商談会開催実績》

商談会名	開催時期	開催場所
第1回みやぎビジネス商談会	平成17年6月	仙台
第2回みやぎビジネス商談会	平成18年6月	仙台
地銀八行合同商談会in上海	平成18年7月	上海
地銀5行フードセレクション2006	平成18年11月	東京
全国地銀合同商談会in上海	平成19年6月	上海
第3回みやぎビジネス商談会	平成19年6月	仙台
地方銀行フードセレクション2007	平成19年11月	東京
第1回おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会	平成20年1月	仙台
第4回みやぎビジネス商談会	平成20年6月	仙台
全国地銀合同商談会in上海	平成20年7月	上海
地方銀行フードセレクション2008	平成20年11月	東京
第2回おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会	平成21年1月	仙台
第5回みやぎビジネス商談会	平成21年6月	仙台
ものづくり商談会@上海(2009 SUMMER)	平成21年7月	上海
第3回おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会	平成21年10月	山形
第3回日本食品展示商談会in上海	平成21年10月	上海
地方銀行フードセレクション2009	平成21年11月	東京
第6回みやぎビジネス商談会	平成22年6月	仙台
日中ものづくり商談会@上海2010	平成22年9月	上海
地方銀行フードセレクション2010	平成22年11月	東京
第4回おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会	平成23年1月予定	仙台
食品ビジネス商談会in香港	平成23年2月予定	香港

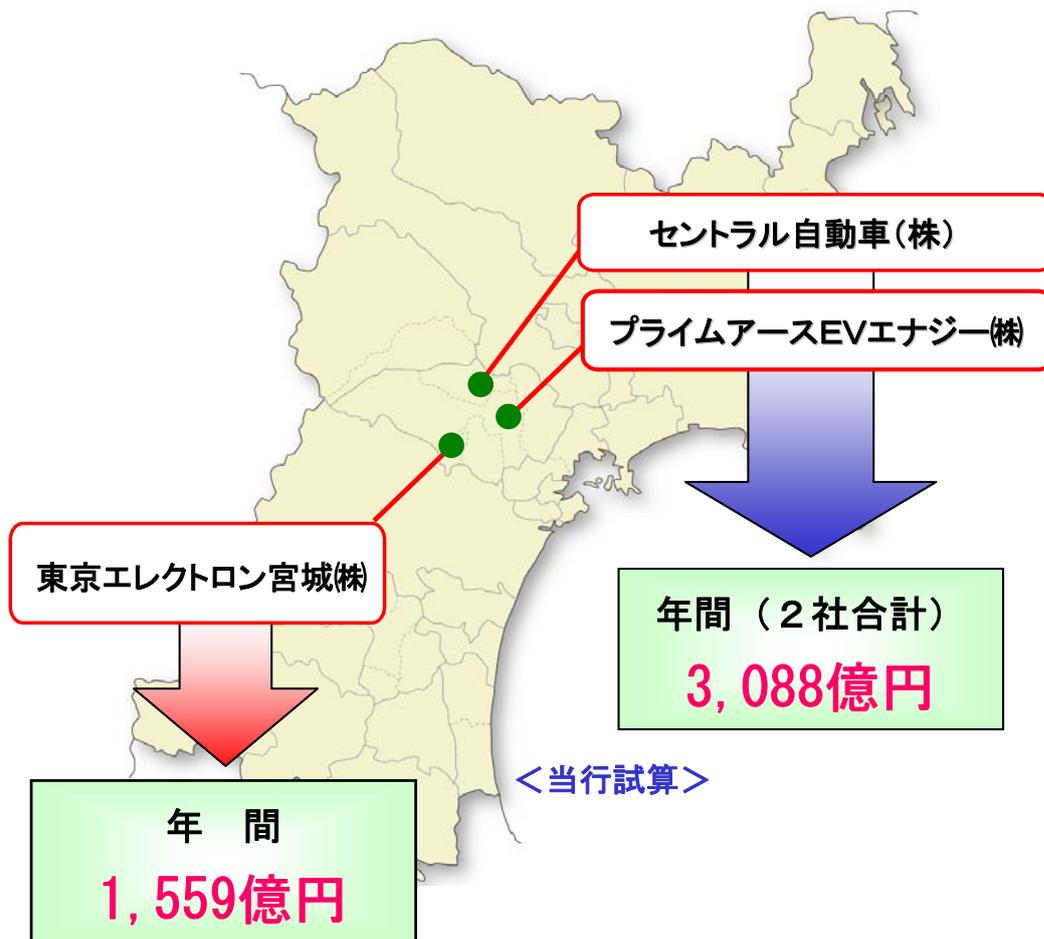
※網掛けは海外開催分

◆宮城県への進出企業に対する取組み

宮城県を中心に、東北地方ではセントラル自動車(株)宮城新工場の稼働を平成23年1月に控え、自動車関連企業の進出が相次いでおります。また、平成23年4月には東京エレクトロン宮城(株)の新工場が稼働することから、自動車関連に加え、半導体製造装置部品に関連する企業の進出も活発になることが予想されています。

当行では、こうした状況下、平成21年3月に新設した「地域振興部」を中心に、本部・営業店が連携し、進出企業取引、従業員取引など、総合取引の推進に取り組んでおります。

《進出企業による県内経済への波及効果》



《本部・営業店一体となった取組み》

- 進出企業向け取引
 - ・・・運転・設備資金融資等
- 従業員向け取引
 - ・・・給振口座、住宅ローン等
- 地元企業向け取引
 - ・・・運転・設備資金融資、ビジネスマッチング、セミナー開催による情報提供等
- 行員向けセミナーの実施
 - ・・・自動車関連進出企業の現地視察や情報活用に向けた講義等

■ 地元企業の経営相談等への取組状況

◆ 経営相談

ソリューション営業課では、お電話や営業店を通じ、企業の皆さまから法律・経営・財務・税務に関するご相談をいつでも無料で受けています。また、毎週特定日には専門家による無料相談も行っています。

《宮城県内企業からの経営相談実績(平成22年度上半期)》

○ 相談受付件数：合計139件（うち嘱託専門家：41件）

その他 5



○ 報告書・提案書作成件数：合計56件



※事業承継とは、自社株の評価等事業の承継等に関する相談を、経営診断とは、財務分析、事業開始に伴う商圏・業界調査等に関する相談をいいます。

◆ 海外取引等のサポート

○ 上海駐在員事務所によるサポート

経済の国際化と産業構造の変化に伴い、地元お取引先企業の中国に関係するビジネスが増加し、現地に進出する企業も増加しています。上海駐在員事務所では、こうした中国に関する地元お取引先企業のニーズに対応し、きめ細かいサポートを行っています。

平成22年7月には、中国でビジネスを行っている取引先企業を対象に、中国での事業運営に関する情報を提供する「上海ビジネス交流会実務セミナー」を有力地銀4行と共同で上海市で開催しました。今回のセミナーでは65社（うち当行お取引先9社）の企業が参加し、活発な企業間交流が行われました。

○ 上海での商談会の開催

当行ではお取引先企業の中国での販路拡大や調達、市場調査等の機会を提供するため、商談会を開催しています。

平成22年9月には、中国上海市で、主に自動車・電気・機械等の製造業の皆様を対象とした「日中ものづくり商談会@上海2010」を全国の地方銀行、自治体など合計26団体が共催し開催しました。334社が出展し、来場した約3,200社の中国企業と約8,500件を超える商談が行われました。



○海外ミッションの派遣

海外進出や海外取引を希望するお取引先企業を対象として、海外への視察団（海外ミッション）を派遣し、現地の経済情勢や投資環境等の視察・調査を行っています。平成8年の開始からこれまで15回の派遣を行っており、毎回15社前後のお取引先企業が参加しています。

○セミナーの開催等

地元企業の皆さまへの海外の経済情勢、投資環境等にかかる情報提供を目的として、セミナーの開催を行っています。

サブプライムローン問題に端を発した世界同時不況後、世界経済の先行きには未だ不透明感が漂っており、為替相場も不安定な状態が続いていることから、平成22年5月には、本店にて「2010年の世界経済見通し」と「外国為替相場の展望」をテーマに「七十七国際セミナー」を開催しました。

◆地元企業への人材派遣

当行の平成22年9月末の外部出向者31名のうち、9割近くの27名を宮城県内企業に派遣しています。

《宮城県内企業への人材派遣実績（平成22年9月末）》
（単位：人）

外部出向者数	うち宮城県内企業	
	人数	同比率
31	27	87.1%

※当行のグループ会社、関連団体への出向者を含みません。

■地元企業再生への取組状況

当行では、企業活力を十分に発揮できていないお取引先企業の「早期再生」支援の強化を通じて地域経済の一層の活性化に寄与するため、審査部に「企業支援室」を設置しています。併せて、お取引先企業の経営に対する指導・助言を強化する「ランクアップ活動」も実施しています。

また、事業再生への取組みにあたっては、「中小企業再生支援協議会」や、事業再生ファンドなどの各種再生手法も活用しています。

《ランクアップ活動の状況（平成22年度上半期）》

（単位：先、億円）

ランクアップ内容	先数	貸出額
経営改善支援の取組先数	594	2,370
破綻懸念先から上位区分へ	2	2
要管理先から上位区分へ	6	96
要管理先以外の要注意先から正常先へ	40	171
合計	48	269
うち宮城県内取引先 （宮城県外本社の上場企業を除く）	44	245

(2) 企業の育成への取組み

■ 企業育成への取組状況

◆ 創業企業等への投融資の状況

当行では、地域金融機関として地元中小企業を育成する観点から創業（ベンチャー）企業等に対し、以下のような融資制度、投資事業を行っています。

77ニュービジネス支援資金	ご融資金額1億円以内で、新技術の開発や新分野への進出等における研究開発資金、事業展開資金としてご利用いただけます。また産業クラスター計画関連等の補助金や委託費の交付決定先企業を対象に「つなぎ資金」の取扱いも行っております。
宮城県等の各種制度融資	宮城県の創業育成資金、仙台市の新事業創出支援融資制度等の創業企業向け各制度融資を積極的に活用しています。
ベンチャー育成ファンド「あおばサクセス壱号投資事業有限責任組合」	みやぎ産業振興機構のほか、当行をはじめ宮城県内大手企業等13団体が5億4千万円出資し、宮城県内の産業振興、雇用対策を目的に、宮城県のほか東北地域に本社を置く企業を中心に投資しています。
産学官連携ベンチャーファンド「東北インキュベーション投資事業有限責任組合」	当行をはじめ宮城県・仙台市ほか12団体が31億8千万円を出資し、東北地域における新規事業の創出および中小企業等の成長支援を目的に投資しています。
ベンチャー企業等投資ファンド「東北グロース投資事業有限責任組合」	当行をはじめ東北経済連合会ほか20団体が35億8千万円を出資し、東北地域におけるベンチャー企業および第二創業を行う既存企業の成長支援を目的に投資しています。

◆ 商工会議所等との提携

当行では、地域金融機関として地元取引先企業に対する経営相談・支援機能の取組強化の観点から、県内商工会議所および宮城県商工会連合会との提携を行っています。提携商工会議所等の会員は、特定の融資商品を優遇金利でご利用いただくことができます。

《宮城県内商工会議所等との提携実績（平成22年9月末）》

提携先	提携融資商品	宮城県内取扱実績
宮城県商工会連合会	77ビジネスローン 〈フォワード30〉 〈アクティブ10〉 〈アクティブ30〉	725件/ 6,005百万円
仙台商工会議所		
石巻商工会議所		
古川商工会議所		
塩釜商工会議所		
気仙沼商工会議所		

◆産学連携への取組み

当行は、産学の連携を通じた地域の発展と地域経済の活性化に資することを目的とし、国立大学法人東北大学と連携協力に関する協定を締結しています。

また、地域の大学、高専等で組織するKCみやぎ推進ネットワークに加盟しており、地域金融機関として、事業経営の様々な場面におけるビジネス支援を行っております。

今後も、相互の専門能力および人材等を活かし、地域企業に対する情報提供や技術協力等を通じて、産学連携の一層の推進に貢献してまいります。

◆七十七ビジネス振興財団

当行は、宮城県の産業振興と経済発展への貢献を目的として、平成10年4月に「財団法人七十七ビジネス振興財団」を設立しています。

同財団では、評価の高い商品・サービス、優れた技術力・経営手法をお持ちの企業を対象とした「七十七ビジネス大賞」と、新規性や独創性のある技術やノウハウ等により積極的な事業展開を行っている企業、および新規事業活動を志している起業家を対象とした「七十七ニュービジネス助成金」の表彰事業（年1回、11月）を行っています。また、講演会やセミナーの開催のほか、情報誌の発行などを行っています。

平成22年4月には食品分析化学の専門家である宮城大学大学院鈴木建夫教授をお招きし「食の万華鏡」と題し講演会を開催し、約80名に参加いただきました。同年9月には、「観光振興と地域活性化」をテーマにセミナーを開催し、約50名に参加いただきました。なお、七十七ビジネス振興財団は、平成22年4月に公益財団法人に移行いたしました。

第12回七十七ビジネス大賞受賞企業

加美電子工業株式会社 (加美郡加美町)

東北ゴム株式会社 (仙台市)

ヤマセ電気株式会社 (加美郡色麻町)

第12回七十七ニュービジネス助成金受賞企業

株式会社アルファ (仙台市)

KFアテイン株式会社 (仙台市)

東北オータス株式会社 (仙台市)

第12回「七十七ビジネス大賞」「七十七ニュービジネス助成金」贈呈式
財団法人 七十七ビジネス振興財団



(3) 地方公共団体の事業との関係

■ 指定金融機関業務の受託状況

宮城県および県内35市町村、合計36地方公共団体のうち、35団体から公金取扱業務を受託（指定金融機関、指定代理金融機関合計）しており、公金の収納や支払等の事務を通じ、幅広く県内の皆さまにご利用いただいています。

また、当行は、地域の皆さまの利便性を考慮し、地方公共団体の庁舎内や関連施設内43カ所に、52台のATMを設置しています。

**《宮城県内地方公共団体からの指定金融機関業務の
受託状況（平成22年9月末）》**

（単位：先）

「指定金融機関」 を受託 28	「指定代理金融 機関」を受託 7	指定なし 1
----------------------------	---------------------------------	---------------

■ 地方公共団体向け資金供給の状況

◆ 地方公共団体向け貸出の状況

当行は、豊かで住みよい街づくりのために、地方公共団体に対し円滑な資金供給に努めており、道路や病院、学校等の整備事業や福祉の向上など地域社会の発展に積極的に協力しています。平成22年9月末現在、当行は宮城県内36の地方公共団体のうち、35団体に貸出を行っています。

《宮城県内地方公共団体向け貸出金等の状況》

（単位：先、億円）

	貸出金		（参考）預金・譲渡性預金	
	取引地方公共団体数	残高	取引地方公共団体数	残高
平成21年9月末	35	7,040	36	2,899
平成22年9月末	35	6,956	36	3,282

※特別地方公共団体、地方公社との取引を除きます。

■ 産業振興に関する協力

◆ 宮城県、三井住友銀行との産業振興に関する協力協定締結

県内企業と県外企業の取引促進や自動車産業等の集積に向けた連携を強化することで、宮城県における産業経済の成長を促進し、地域全体の活性化を図る観点から宮城県、三井住友銀行と「産業振興に関する協力協定」を締結しています。

協定に基づく事業として、これまで自動車関連産業参入や海外ビジネスに関するセミナー等を開催してまいりました。今後も、3者が連携・協力し、宮城県の産業振興施策を支援してまいります。

■地方債の引受状況

当行は、地方公共団体の発行する市場公募地方債、共同発行公募地方債を引受しています。平成22年度上半期は、市場公募地方債35.1億円、共同発行公募地方債3億円を引受けました。

《宮城県内地方公共団体発行 市場公募地方債の引受状況》

(単位：億円)

	市場公募地方債発行総額	
		うち当行引受額
平成22年度上半期	200	35.1

※住民参加型を含みます

《共同発行公募地方債の引受状況》

(単位：億円)

	共同発行公募地方債発行総額		
		うち宮城県・仙台市調達分	
			うち当行引受額
平成22年度上半期	8,100	370	3

■PFI事業への取組み

財政負担の軽減と公共サービスの質の向上を図るため、宮城県や県内市町村においてPFIによる公共事業の実施検討が増加してきています。

当行では、これまで宮城県内で8件のPFI事業について融資金融機関として参加しており、うち4件については事業者のメイン行としてアレンジャー業務を行っています。

<取組実績>

- ・仙台市/松森工場関連市民利用施設整備事業
(融資金融機関、アレンジャー兼エージェント)
- ・仙台市/野村学校給食センター整備事業
(融資金融機関、アレンジャー兼エージェント)
- ・東北大学/学生寄宿舍PFI事業
(融資金融機関)
- ・石巻地区広域行政事務組合/消防本部庁舎移転整備事業
(融資金融機関、コ・アレンジャー)
- ・仙台市/天文台整備・運営事業
(融資金融機関、コ・アレンジャー)
- ・宮城県/教育・福祉複合施設整備事業
(融資金融機関、建中アレンジャー)
- ・石巻地区広域行政事務組合/養護老人ホーム改築事業
(融資金融機関、アレンジャー)
- ・宮城県/宮城県消防学校移転整備事業
(融資金融機関、アレンジャー)

当行は、今後もPFI事業に取組む宮城県内地方公共団体や参加を希望する地元企業に対して、ノウハウの提供と積極的な支援を行ってまいります。

■地方公共団体関連事業への人材派遣

当行の地方公共団体関連事業への人材派遣実績は、平成22年9月末で1名となっています。

■地域環境の保護

当行は、地域環境を保護するために、さまざまな取り組みを行っています。大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙の利用や処分文書の再生処理など、日常的な環境負荷の逡減にも留意しています。

また、環境保護等の社会貢献に積極的な企業向けに金利等を優遇した商品や、環境に配慮した住宅・アパート等を建設した方を対象として金利等を優遇する商品、投資信託販売商品への環境ファンド組入れなど、環境に配慮した金融商品を取り揃えております。

平成22年4月からは、お客さまとともに環境問題に取り組むため、環境配慮型の住宅取得者に「カーボンオフセット付QUOカード」を提供する「住宅ローンエコライフ応援キャンペーン」を実施しました。

そのほか、ハイブリッド車等の環境にやさしい自動車を新規にご購入する方を対象にローン金利の引下げも行っています。当行においても低燃費の軽自動車やハイブリッド車の導入を進めるなど、環境対応車への切り替えを順次行っています。

また、当行は電力使用量の削減による温室ガス排出削減に一層貢献するため「チャレンジ25キャンペーン」に賛同し、「夏の軽装勤務（クールビズ）」を実施しています。



■社会福祉への貢献

◆「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、34年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっています。主な活動は以下のとおりです。

○「クリーンキャンペーン」への参加

平成22年8月、仙台七夕まつり開催前に毎年行われている「クリーンキャンペーン」には、当行から約50名（会員企業合計約240名）が参加して仙台市内中心部を3コースに分かれて清掃し、社会的モラルの向上をPRしました。



○車椅子の寄贈

毎年、運動本部（東京）から車椅子の提供を受け、県内の社会福祉施設に寄贈しています。当行は事務局として、寄贈先の選定や贈呈式の運営を行っています。

○社会福祉施設等の慰問

毎年、県内の老人保健施設等を訪問し、唄や踊り、津軽三味線等演芸を披露するなど、施設の方々とともに和やかなひとときを過ごしています。

◆愛の募金会

「七十七愛の募金会」は当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝を表すため、平成6年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役職員により設立されました。平成22年度上半期は、社会福祉施設5団体、ボランティアグループ5団体に総額150万円の寄付を行いました。



◆七十七交通安全協力会

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しています。

同協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童全員に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成22年度新入学児童向けとして本年も宮城県内全ての小学校に合計約2万4千枚を贈呈しました。

◆企業献血による献血事業への協力

当行では、医療に必要な血液の安定的確保に寄与するため、宮城県赤十字血液センターの協力を受け、県内全店を対象とした企業献血を実施しております。平成21年度は県内22箇所の支店駐車場等に移動採血車が巡回し、延べ27回の献血を実施しました。また、当行は厚生労働省の献血推進事業である「献血サポーター」に参加しており、今後も献血の普及・啓発に寄与してまいります。



◆ピンクリボンフェスティバルへの協賛

当行は、乳がん対策の重要性を訴えるピンクリボン活動の社会的な意義を踏まえ、地域での乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を伝えるため、平成19年より「ピンクリボンフェスティバル」に協賛企業として参加しており、平成22年も「ピンクリボンフェスティバル2010」を協賛するなど積極的な支援を行っています。

◆がん検診受診率向上に向けた協定の締結

当行は宮城県と宮城県対がん協会および他民間企業と連携し、県民の皆さまのがん検診受診率向上に向けた取組みを協働で行うこととし、平成22年7月、「がん啓発及びがん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」を締結しました。

今後は協定に基づき、県民に対し、がんおよびがんの予防に関する正しい知識の普及啓発やがん検診の重要性の啓発、がん検診の受診勧奨などを行ってまいります。



■地域との交流

◆地域行事への参加、協賛

宮城県では、仙台七夕まつりをはじめさまざまな地域行事が開催されています。平成22年度上半期は、仙台青葉まつりなど、6つのお祭りに約380名の当行役職員が参加しました。さらに各営業店では、営業地域内のお祭りへの参加や七夕飾りの出展、所属商工会を通じた地域行事への参画など、地域の皆さまとの交流を図っています。

また、当行は県内各地のお祭り等さまざまな地域行事へ積極的に協賛しています。



◆ロビー展の開催

当行では、地域との交流をはかるため、営業店のロビーを開放してお客さまの写真展や絵画展を開催したり、地域のさまざまな活動を紹介しております。

◆七十七銀行金融資料館

七十七銀行金融資料館は当行の創業120周年を記念し、地域の皆さまの長年のご愛顧への感謝をこめ開設しました。お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済等をわかりやすく紹介しており、平成22年度上半期は約940名のお客さまにご来館いただきました。平日の午前9時から午後3時までの開館です。



■スポーツの振興

◆地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、サッカーJリーグ／ベガルタ仙台と、プロ野球パシフィックリーグ／東北楽天ゴールデンイーグルス、およびバスケットボールbjリーグ／仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして地元プロスポーツチームの活動を支援し、地域のスポーツ振興に貢献しています。また、総合口座通帳およびICキャッシュカードに上記3チームのキャラクターデザインを採用しており、より多くのお客さまに地元プロスポーツに親しんでいただいております。

また、ベガルタ仙台のサッカーJ1リーグ公式試合（平成22年9月19日モンテディオ山形戦）を「七十七銀行マッチデー」として開催しました。当日は、始球式やエスコートキッズ等さまざまなイベントを実施し、抽選に選ばれた小学生の皆さまにご参加いただきました。



◆仙台国際ハーフマラソン、市民マラソンin仙台への協賛

当行は、仙台市で開催される「仙台国際ハーフマラソン」、「市民マラソンin仙台」の両大会に協賛しています。スタッフジャケットやゼッケンを提供しているほか、交通規制看板の設置などに協力しています。

◆ 運動部の活動を通じたスポーツ振興

当行では、運動部の活動を通じて地域のスポーツ振興に取組み、地域貢献を図っています。

硬式野球部、陸上競技部、バドミントン部は、都市対抗野球大会や日本陸上競技選手権大会、バドミントン日本リーグなど、全国レベルの大会等に出場しているほか、日々の活動において指導教室等を開催し、地域のスポーツ振興に寄与しています。

◆ 企業スポーツとしての大会参加

当行運動部の主な戦績は以下のとおりです。

○ 硬式野球部

- ・第81回都市対抗野球大会 出場

○ 陸上競技部

- ・第58回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
男子やり投げ 優勝
女子400m 第4位入賞
女子400mリレー 第3位
女子1600mリレー 優勝

○ バドミントン部

- ・2010日本ランキングサーキット大会
混合ダブルス 第3位
女子ダブルス 第5位



◆ 小中高生に対する技術指導等

○ 陸上競技部

平成22年6月、地域社会との交流や地域の陸上競技の競技力向上を目的として「第4回七十七銀行陸上競技記録会チャレンジ2010」を開催しました。当日は宮城県内外の中高生や一般選手約500名が参加しました。また、宮城県スポーツ振興財団主催の「小学生陸上クリニック」に講師としての参加や、仙台市小学校教育研究会主催の小学6年生を対象とした陸上記録会で模範演技を披露するなど、日々の活動において、随時実技指導、合同練習などを行っています。



○ バドミントン部

県内の大学・高校等との合同練習会を随時開催しているほか、平成22年5月には、女川町で開催された宮城県バドミントン協会主催の技術講習会にバドミントン部員が講師として参加し、石巻地区の小中学生約60名に技術指導を行いました。また、同年7月には、大河原町で開催されたバドミントン県南講習会に講師として参加し、約50名の高校生に技術指導を実施しました。



■文化活動の後援

◆公演・展覧会への協賛

当行では、地域の文化振興に貢献するため、多くの文化活動等への協賛を行っています。平成22年度上半期は「第4回仙台国際音楽コンクール」や「第47回宮城県芸術祭」、「第8回仙台カップ国際ユースサッカー大会」をはじめ数多くの文化・スポーツ活動への協賛を行いました。

◆「七十七ふれあいコンサート」の開催

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに迫力ある生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、仙台フィルハーモニー管弦楽団に協力していただき、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。



平成22年度は、12月に通算42回目となるコンサートを宮城県塩竈市において、地域の小中学生約1,100名を招待し、指揮者体験や楽器の解説等を交えながら生演奏を楽しんでいただく予定です。

◆「七十七スターライトシンフォニー」の開催

当行の芸術文化振興活動の一環として、また仙台冬の風物詩“SENDAI 光のページェント”の参加企画として、平成3年から毎年開催しているコンサートです。

毎回、オーケストラの演奏をバックに著名なアーティストが出演しており、通算20回目を迎える今回は、12月に、宮城県出身の中村雅俊さんと仙台フィルハーモニー管弦楽団が共演する「七十七スターライトシンフォニー」ならではのステージとなる予定です。また、広く社会福祉に役立てていただけるよう、会場ロビーにおいてチャリティー募金を実施いたします。



発行：株式会社七十七銀行 総合企画部 広報・関連事業課
〒980-8777 仙台市青葉区中央三丁目3番20号
Tel 022-267-1111(代)

ホームページアドレス <http://www.77bank.co.jp/>